

# 幼 兒 教 育

第 三 十 四 卷 五 月 號 第 五 號



東 京 女 子 高 等 師 範 學 校 內  
日 本 幼 稚 園 協 會

廣島文理科  
大學教授  
文學博士  
久保良英  
先生新著

# 兒童研究所紀要

## 卷十六

大刊洋綴背皮クロ一製天金  
冊一全裝洋刊大  
餘百圖參金價定  
錢拾五圓參金價定  
錢二十廿金料送

久保博士等同好の士  
が將來國家構成に重  
要的な役割を持つ兒童  
を心理學的・生理學的  
的に研究して純粹な  
學的立場から貴重な  
成果を發表せる本紀  
要は恒に教育家の最  
新知識たり

### 新刊 第六卷内容目次

**新刊 14 15 16 合輯**  
兒童の類型、特に直觀型と就て  
兒童の直接記憶及知覺の發達に關する一研究  
紙上テストと器械テストとの比較  
文學博士 清水 清一  
久保良英  
岡須賀子  
波多野勤子  
守田保  
文學博士 久保良英  
文學士 古賀行義  
文學士 松本順之

### 合輯定價

1 2 3 4 合輯  
金九圓五十錢  
5 6 7 合輯  
金拾圓五拾錢  
8 9 10 合輯  
金拾圓五拾錢  
11 12 13 合輯  
金拾圓五拾錢

大判洋綴背皮クロ一製天金  
紙數一千二百頁插圖四百餘  
定價金十圓五十錢  
送料四十五錢

應用心理研究會編

久保良英主任

# 應用心理研究

## 第二卷

醫學士 松本順之  
醫學士 久保良英  
醫學士 古賀行義  
醫學士 松本順之

一年三期發行  
會費一年三十圓  
送册料七圓  
高力 上野 丸  
谷 松 野 眞  
松 古 峰 眞  
武 政 眞  
久 原 眞  
見 原 眞  
英 良 眞  
郎 義 眞  
郎 義 眞  
信 博 眞  
博 圓 眞  
一 錢 眞  
錢 眞

內容

人は利益なしに働くか...  
臺灣に於ける氣候と作業能率との關係並にその内臺人比較  
學齡六年間の智能發育と身體との關係  
犯罪少年の個性調査再論  
保護少年と文身の關係  
競技に對する意見の評定  
グワイッド・カッツの印象  
ロイド・モルガンを訪ねて  
リブマン教授近く

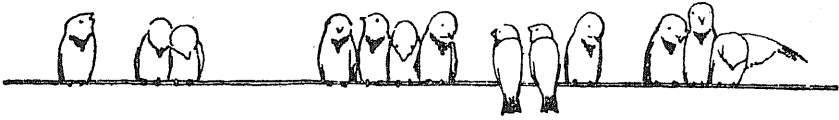
文學博士 松本順之  
文學博士 久保良英  
文學士 古賀行義  
文學士 松本順之

振替電話 東京三三三

店書館文中

發行所 東京市牛込區

七二四八三  
五二三三三



號五第 育教の兒幼 卷四十三第

—(次 目)—

口繪	卷頭(佛心と童心).....	倉橋惣三(一)
	幼児教育側面觀.....	田代順之(二)
	幼児の生活指導方針を吟味する.....	山内俊次(八)
	乳幼児愛護週間に就て.....	原泰一(三)
	誰にでも出来る實驗(一).....	堀七藏(六)
	扁桃腺の話.....	廣瀬興(三)
	幼児の教育と一錢玩具の話(二).....	松前福廣(六)
	幼童教育と童謡(四).....	葛原 函(三)
	フレーベル祭の前後に.....	大塚喜一(四)
	幼児の服装について(五).....	成田 順(四)
	童もやもや話.....	高島 巖(五)
	人形花子さん(三).....	及川ふみ(五)
	花咲爺さん.....	小園(五)
	土いじりの二つ三つ(二).....	大岩 金(六)
	童幸福の王子様(つづき).....	津田芳雄(六)
雜 録.....		(五)

武藏野音樂學校長 福井直秋先生著

(好評三版)

# 兒童唱歌七十二曲集

菊版洋裝美本  
箱入全一冊  
定價金壹圓貳拾錢  
送料金八錢

兒童唱歌の基準!! 待望の名曲集漸く成る。

俄然大殺文注  
好到評す!

こつき・わかくさ・ささぶね・みいちやん・ぶらんこ・たんぼぼ・シャボンたま・あをがへる・ひよこ・さよなら・つばき・さくら・日の出・すずめのおやど・子ねこ・まりなげ・はしれ・國の祝日・ねむれ・青空・野ぎく・朝濱邊あるき・つつじ・山路・ねむりませう・月・兵隊さん・風車・ご門の電燈・みなしご・冬が来た・氷すべり・蝶々・川遊び・朝風・鯉のぼり・雲雀・池の絆鯉・登山・子雀・星のひかり・山家のちいさん・月のひかり・霧・雪・春景色・田舎道・琵琶湖・夏の山・盆踊・涼しき森・汽車の旅・残れる秋草・小さき星・落葉・郊外の秋・港のにぎはひ・懐しの友・冬枯・花見・春風・小舟よ・あやめ・松風・懐し我が母・川邊の柳・うれしや我は・清き小川・冬の夜・親の恩

好重  
評版

新尋常小學唱歌伴奏解説

全六冊  
定價各六拾錢  
送料六錢

子供の舞踊

卷一・二 低學年用 各金六〇〇  
卷三・四 高學年用 各金一〇〇

福井小學唱歌教材の選擇に就て

全一冊  
定價四十五  
送料六

エホンシャウカ春・夏・秋・冬の卷

定價各金三五  
送料二

東京市神田區 二ノ一町 三  
音教書出版協會 振替電話 東京 四六七八〇 三七三



緑新るす溢汪

園稚幼屬附

# 育教の兒幼

月五年九和昭

## 佛心と童心

◇  
佛心は慈悲。慈悲は先づゆるす心である。その大きなゆるしの前には、多分善もなし悪もなし、たゞすべてに對する無差別のいたわりだけがあるのであらう。佛を信じて罪障が消滅するさいふのもの、佛が始めから、人間の罪障をゆるしてゐて下さるからである。その無際限のゆるしの中に心を浸されて、罪人も罪人でなくなるここに外ならぬであらう。

◇  
佛心の偉大さは容易に測り知り得ない。しかし、ゆるされる心がさういふ心かは考へて見るこゝが出来ぬ。それは、責めつけられない心である。咎められない心である。罪をいつまでも追跡されない心である。従つて、その前にあるものは隠しや、飾りや、詐りや、反抗や執拗や、さういふ一切の我執から解放させられる。つまり、萬人が、その本然の無我に歸らされるのである。

◇  
佛心の宏大無邊にくらぶべくもないが、童心が、これに似た幸福を私達に與へて呉れる。尙ほまた、佛心は餘りに崇高で、時に私達の方から近づき兼ねる事があつたりするが、童心にはさういふこころもない。そこには、ゆるされることも識らずにゆるされる心易さがある。抱かれるよりも抱いてやる親しさがある。その近づき易いあざけなきこそ、誰れでもの心を直ぐほさいて呉れずにはない。

# 幼兒教育側面觀

東京女子高等師範  
學校附屬小學校

田代順之

二

幼稚園は小都市よりも大都市に施設經營され、入園幼兒の家庭は財的に裕福であり、其の子女の教育には並ならぬ關心を持ち熱心であるを見なければならぬ。勿論中には家庭の體面上幼稚園へ入れて置くに似つたやうな、無雜作なものもあるであらうし、幼稚園へさへ入れて置けば幼稚園で適當に教育して呉れるだらう位に片付けてゐる家庭もあるに相違ない。

けれども幼稚園は小學校と異つて、多く都市の上層家庭の子女教育所であるを見て強ち偏見ではあるまい。

かく現在の幼稚園は都市の裕福なる家庭の幼兒を教育するに似つた特殊な性質を持つてゐるから、稍々もするに其の特殊性が一般小學校教育との連絡を阻害する事なきにしもあらずである。此の點幼稚園にしても充分警戒する必要があるであらうと思ふ。

其の一つはこもするに技巧的な幼兒にして了ふ虞がある。即ち家庭では幼稚園へやつてあるのだから嘸や他の子供と違つて憫口になるだらうと考へる。そして其の期待は表面的の結果にのみよつて判断し満足しようとする。何も作れるやうになつた。之も拵へる。こんな遊戯も覺た。唱歌も幾つ歌へるに似つた調子。若しさうした觀面な結果がなければ家庭は不服を言ふ。従つて幼稚園でも家庭との連絡上自然それに迎合するやうな傾向に陥つて來る。端的に言ふならば家庭は幼

兒可愛きの餘り之を玩具視せんとする。かうしてチャホヤミ育てられた子供はごうも落付がなく、根氣ミか我慢ミかいふ方面に缺陷を現し、習は遂に性ミなつて禍を將來に持越す事になる。

○ 感官の練磨ミいふことは幼兒の教育上極めて重要な事であるから、教育方法はよろしく此の點に基礎を置くべきで、作る事、歌ふ事、遊戯する事等が幼稚園教育法の大部を占むべきは之又必然の事であらねばならぬ。

幼兒は一瞬時も靜止が出来ないといふのは伸びんミする本然の要求の發現であつて、吾々は之を積極的に教育的に満足せしむべき準備ミ指導法を考へて置く事こそ幼兒教育の本道に精進する所以であらう。

唯此所に戒しむべきは幼兒をして大人の愛玩的満足の犠牲たらしめる事であり、結果主義に墮する指導法である事を銘記したい。如上の意味に於ける教師の不用意な助力は徒らに幼兒の獨立性を損する以外には何物もない。

○

或人から「子供を幼稚園へ入れる事は考へ物だといふ事ですがごういふものでせうか」といふ質問を受けた事がある。其の時私は「子供の止むに止まれぬ活動を積極的に善導するといふ事は極めて教育的であり、有意義であるから然るべき幼稚園を選択してお入れになつたらよいでせう。殊に一人娘でお母様、お祖母様の遊び相手では子供としての全き生活が期し得られないでせう。子供は子供の世界に生活させるといふ考へ方が肝腎だと思ひます」と言つた事がある。

幼兒は幼兒としての社會生活をさせ、其の間に社會性を陶冶するといふ事が大切である。多角形的な幼兒性の接觸はやがて幼兒ながらの社會性を醸成せしめる所以であつて、大人との接觸にては到底得られざる貴い或物が獲得されるのである。



獨立した社會人を教育しやうとする其の基礎態度養成の幼兒期に於て温床栽培的な他律的な教育では到底其の目的は達し得られないのである。幼稚園や小學校の低學年に於ては専ら生活態度の養成を根本義としなければならぬのも其所に理由が存するのである。

併し此所で吾等の注意を怠つてはならない事は、幼兒を集めて集團生活をさせた處で、集團生活を放任に近き状態に置いたのでは、決して幼兒の社會性が陶冶されるものでないといふ事である。幼兒には反省とか自制とかいふ徳は未だ極めて未發達の状態にあつて、適當の指導者なしでは到底初期の成績は擧げ難い。殊に集團の中に特殊な亂暴癖を有する子供があり、たまくそれが行動を擅になし得るが如き状態に置かれたやうな場合、其の子供の性癖は益々増長こそすれ矯められるといふやうな機會がないのみならず、それが他兒の生活態度にまで影響を及ぼし、其の集團生活は全く破壊に導かれ、集團中の各兒は伸び得べき良質をも滅却の破目に墜されるのである。

吾人小學校に於て幼稚園教育に要望せんとするところは決して智的方面ではない、團體生活の態度である。幼稚園の教育を受けて來た子供の態度は、幼稚園の教育を受けない兒童に比べて劃然と優つてゐる。かく言つたからして現在の幼兒教育がさうでないといふのではなく、大いに成績の見るべきものゝある事は申す迄もないが、蛇足を附け加へて一層の努力を希望して止まない次第である。

○

都市の子供の教育上大いに重要視しなければならない事は、もつと脚を丈夫にするといふ事である。同じ都市の子供でも上流家庭の子供に層一層其の必要を痛感するものである。かつて私は尋一新入の父兄にかう言つた事がある。さうも都會の子供は足が弱くて困る。中には足が未だ地について居ないと思はれるやうな者さへある。もつと足を丈夫に

したい考へであるから、御家庭でも是非此の意を含んで御協力願ひ度い、脚が弱いこいふ事は交通機關の發達した東京市なきに於て殊に然りである。つまり脚が弱いこいふ事はこりもなほさず、體力が貧弱であるこいふ事であり。體力の貧弱は何をやらせても馬力が繼續しないから其の遂行が思ふやうに行かない。換言すれば根氣が續かない。根氣が續かない子供はさうもしつかりした作業が出来ないので學業成績の進歩もはかばかしくない。之は教育上忽諸に附すべからざる重大問題であつて、殊に幼児の教育上知識を授けるなきこいふ事は三次四次的な事であつて、養護、訓練を第一義としなければならぬ事は申す迄もない明瞭な事である。

子供の體力を養ふこいつても體質其のものに支配される部分が多い事勿論であるが、併し其の子供自身の最善な體力を養ふやう考慮すべきは極めて緊要事に屬する。而して體力養成の具體的方法としては何こいつても脚を丈夫にするこいふ事に勝つた方法はない。田舎の子供が都會の子供より馬力があるこいふ事は、環境其のものが健脚ならざるを得ない状態にあるからである。即ちそれは如何なる場合でも常に脚を使用しなければならぬからである。然るに都會に於てはさうしても兒童の活動範圍が狹隘で脚を使用する機會に乏しい。のみならず交通の發達した大都市になるこいにも乗物二にも乗物こいふ工合に乗物ばかりを使用してゐるから、肝腎な脚を鍛鍊する機會が殆ど與へられない。

此の點子供の養護上最も憂慮に堪へない所であつて、都市に於ける幼児の教育上此の缺陷を補ひ、體力の向上を計るべく、特別の考慮が拂はれなければならない。教師最善の考慮、努力も尙田舎の自然に及ばない事遠いものがあらうが、それは止むを得ない。兎に角日に日に健脚教育を念頭に置いて最善の努力を傾注されん事を望む。

然るに現在の幼稚園教育の實狀を見るにうたゝ寒心に堪へないものがありはすまいか。こいふのは幼稚園での幼児の生活は、猫の額のやうな庭でブランコ乗りに滑り臺滑り、それに砂場の砂いぢり。屋内でも積木や輪投げ遊び、さては手工

や圖書がある。まるで脚を鍛錬する機会なき與へられやしない。之でさうして幼児の體力が養はれやう？。體力をいやが上にも貧弱ならしめる結果にはなるまいか。幼児教育の任に當るものゝ猛省を促して止まない。

一にも健脚教育、二にも健脚教育でありたい事を切望するものである。

○

次には神経質の子供が多いといふ事に關してあるが、都會は自然刺戟が多く、環境其のものが子供を神経質にする。或程度まで仕方がない事でもあり、又或程度迄神経質となつて敏捷でない生活に支障が生ずるさへも考へられる。

けれどもそれが必要の度を越して所謂神経過敏の域に達してゐるものが極めて多いやうに見受ける。之では身體の發達に悪影響を及ぼさざるを得ない。然るに幼稚園に於ける教育の實際が果して此の神経過敏を矯正するやうな施設經營に苦心をしてゐるかさうか問題である。若し多くの幼稚園が前項に於て述べた様な生活を幼児にさせてゐたか假定するならば、それは神経過敏の矯正きころではない。却つて神経過敏幼児を養成するやうな結果を招來する事になる。

此の點前項同様吾人の最も憂ふる所であつて幼児教育關係者に再思三考の熟慮を願ひたい。

それにしても其の方法は餘り技巧的な遊びを避けて刺戟の削減を計り、自然に親しましめるに如くはないやうに思ふ。私の言ふ健脚教育が此處でも極めて有意義に實踐される事になりはしまいか。

神経過敏の子供は反應は敏捷だかさうも落ちつきが足りなく、作業の遂行力に乏しい。そのため底力のある子供はなり難い。私はごちらかご申せば、寧ろ少し位反應が遅くともドツシリした落付のある、底力のある子供を要望する。さうした子供の將來が頼母しい。

之を要するに幼児教育では

第一 感官の錬磨さいふやうなことも大切には相違ないが。何をおいても養護第一で行け、馬力のある子供を養ふことを第一義とせよ。さすれば相關的に神經過敏も減少することになる。それにはなるべく自然の廣い庭を利用して健脚教育を實施することが一番望ましい事であるのである。

第二 幼稚園の教育を受けて來た子供はさうでない子供に比べて團體生活の訓練が良く出來てゐるさいふ事でありたい。

さいふ此の二つが私の側面觀の結論である。

# 幼児の生活指導方針を吟味する

東京女子高等師範  
學校附屬小學校

山内俊次

八

## 一、緒言

私共は「子供の生活指導」をいふやうなことを平常から考へてゐますが、それには、凡そ、二色の著しい傾向があるやうに思ひます。その一つは、いやに子供を大人びた風に躰けようとする傾向で、今一つは又その反對に子供のこころだ、ホトケ〜こいふ傾向であります。よく電車の中や公園乃至お芝居などで、さうした實例を目撃することがありますが、それは主に無知な人々の間の實例で、必ずしも或る主義の下にさうした傾向が現はれるものではありません。然るに相當知識階級の世の父母の間に於て尙且子供の躰けに對しての前述べし二傾向があります。否教育専門家に於てすら凡そその二傾向があるこいふ實を認めざるを得ないのであります。然らばこの事實に對して一應考察して見るこころも決して無意味ではなからうと思ひます。

## 二、理想主義か經驗主義か

即ち教育をいふものは、その一定の目標としての理想へ、一歩々々進展させなければならぬ。それがためには、教育者の考へに従ひ具案的系統的に、あらゆる方面からその材料を選択し排列して、秩序あり能率の高い教育効果を擧げなければならぬものこそ考へるのであります。さうして、被教育者は教育者の力により常にかくあらねばならぬ理想へ漸次近づけるべきもので、そこに進歩があり發展がある。而して漸次文化價值の高い生活が展開して行くもので、私共は其處を

狙はなければ、教育の目標にては何物もないではないかといふのであります。これ實に批判的教育學に根據を有つ理想主義の主張する所で、所謂『當爲』を目標とするものに外ならないのであります。この思想中には充分眞理を認めますが、併しながら自然の『存在』そのものを全然無視することは、又一方の非難を免れないであらうと思ひます。子供といふものは大人の考へを強ひるだけでは、決して完全な發達を見ることは出来ません。子供には子供自體の独自の立場に於ける子供の生活があります。これを無視した所にこの考への大なる錯誤があると思ひます。

私共は子供を看視して大人の考へを子供に強ひることを不合理であると思ひます。するに實際家の多くは、そんな馬鹿げたことを今日何人がしてゐるかを反問されるではありません。何ぞ知らん不知不識の間にさういふ私共自身が子供に大人の考へを強制しつゝあるではありませんか。

そのことは、お互に冷靜に教育實際家としての自己の行爲を客觀的に反省して見る必要があらうと思ひます。

私共は過去に於て舊式教育を受けてゐます。今日の教育法規乃至幼稚園制度なども多少改正されたが相當別のものであります。舊式教育を受けたものが一般的な法規制度によつて實行する教育は、矢張り大人の考へを子供に強ふるやうな議論を受けやすいことは當然のことといはなければなりません。

勿論近代國民普通教育なり幼稚園保育が、國家的見地から、教育の目標を一定してゐることは何れの國家も同様でありませう、併しながら、その目標に到達すべき方法手段に至つては時代と共に進歩して已まないものであります。實際家はこの點に充分思を致さねばなりません。

即ち新意義の教育に於ては、何處までも子供のあつたがまゝの姿態を尊重して、所謂子供の生活を子供として指導誘導しなければならぬ。子供の生活本意の教育でなければならぬと思ひます。所謂『存在』を重視しなければ

ば、少くも幼稚園乃至小學校教育は無意味であると思ひます。經驗主義の教育は即ちこのことで、經驗的教育學に根據を有つ主張であります。

### 三、辨證法的の立場

子供の生活といふものは、これを尊重することは何處までも必要であります。全然自由放任、若くは不干渉主義で、子供の主張はこの如何を論ぜず肯定主義といふことは、教育本來の本旨にもござるこゝいふまでもありません。然るに、世には往々にして、兒童本位論と自由放任主義とを恰も同一主義の主張かの如くに考へる輩があつて、これらの論者は、兒童本位論もさるこゝながら、全然自由不干渉主義も亦不可能であるこゝいふ立前から、然らばこゝにこの主張のデレンマがあるではないか。これ實に舊思想家の新主義教育攻撃好題目とする所であります。

何ぞ知らんこの論理には抑々前提に於て、大なる誤謬が存在してゐます。其處から出發しての議論は最早や論ずるまでもありません。

併しながら、この二つの對抗した主張は、結局何處まで行つても到底解決し得ない問題で、東西古今多數の教育學者が、その何れかに徹底せんとして皆失敗せる證跡は、史上あまりに顯著な事實であります。故に何れにも偏せず而も何れをも顧慮に入れた別の立場をさるこゝはこれこそ所謂辨證法的の思想で、即ち思辨的教育學の立場なのであります。

現今我が教育界を大觀する時、その大部分の傾向は「當爲」を目標とする理想主義の立場ではなからうかと思ひます。舊思想の持主は別に教育の思想史的な批判力なくして無意識的にかくは固つてゐるものさへあります。

然るに近年漸くにして、兒童本位、即ち兒童の所謂「存在」を目標とする經驗主義の思潮が頓に勃興して參りました。私共の所謂作業主義の主張は實にこの點に於て教育界に大なる刺戟を與へたものこゝいふべきであります。而して幼稚園の

幼児保育の實際に對しても亦同様にこの思想を取入れたいと考へます。

我が國現下の如き過渡期に處しては、或る程度まで極論する必要を大いに認めなければなりません。即ち左に著しく屈曲した所は、これを眞直に起したばかりでは正しく矯正し得るものではありません。寧ろ反對に右へ屈曲させることによつて始めて丁度正しく直すことが出來ますのと同様、現下の教育もやがて之を正しく建直すの近道は、今日必要以上の理想主義に對して、經驗主義を一層強く主張することであるを考へざるを得ないのであります。

#### 四、子供の世界と大人の世界

幼稚園生活を経験して來た小學校新入兒童を家庭生活から直ちに入學した新入兒童との間に於て著しい相違のあることは、蓋し當然のことでありませう。

幼稚園生活をして來た子供は、意氣揚々として潑刺たるものがありますが、家庭生活から直接來た子供は誠に意氣憤沈、家庭生活から團體生活たる學校生活への變化について唯驚きの眼をみはるのみであります。

元來家庭生活から學校生活への大變化は、精神的に多大の影響を有つべく、私共は、その過渡期をして最も圓滑ならしむべき制度は、實にこの幼稚園生活を経験せしむることであると思ひます。然らばこの幼稚園生活に於て何をか賡けるべきでありませうか。

よく良家の母親にして子供の生活を無視した振舞を見聞することがある。

「坊やは、なぜそんなにお手々を汚すのがお好きなの？」

「豚小屋で、豚の子を遊んだりして、おゝまあ、あの汚ない所で、ごっこが面白いの？」

「お母さんは、ご門の扉へのぼつてギーボタンをしたり、釘にかけて、そんなにおべべをひきく破つたりすることは



大嫌ひです。坊やはさうしてそんなこゝが出来るとかしら！」

こんなこゝをいつて止めるもの！ それは、不斷から母親達の口癖のおきまり文句に過ぎないといふこゝを子供の方で先刻ちやんこ承知してゐます。何ごいふあさましい現象でありませう。

事實、大人が自身の子供時代から今に至るまで、恰も全力を以て自身の力で生き残つてゐる様に思ふ見解は、大人自體より年少者を理解するこゝが全く不可能になつてゐます。丁度童兒期のものが赤ん坊である妹の幼稚な遊びを喜ぶのを見て、馬鹿げたこゝこゝ思ふやうに、自身の息子をさへ、理解のない父母は小型な四十男のやうに思つて、その四十男がなすべきだこゝ理窟の上から規定されたやうなこゝを子供が嫌ふのを見て、何か不自然な現象かの如くに信じてゐます。即ち子供が本當に重要なこゝこゝしてゐるこゝから、大分離れた所のこゝを父母は要求してゐるこゝこゝやうなこゝが往々にしてあり得るのであります。さうして、子供の望む所は、かの理解の多い父や母からは、實に馬鹿げたこゝこゝしか考へられなない。子供は大人を縮少したものでして、子供は大人と相似形だこゝこゝ誤れる見解は、遂に斯の如き危期をさへ招來するこゝこゝなるのであります。

これを要するに、かゝる誤解は、大人が遊戯の形式だけ見て、その實體を見ない所に抑々起因すると思ひます。かゝる形式上のこゝこゝは大人にこゝつて何等の重要な意味を有たないといふ理由から、同様なこゝこゝが子供にも眞理であらう！と考へる所に抑々の破綻があるのであります。子供は大人の縮圖ではありませぬ。子供の世界と大人の世界、それは全く別物であります。子供にこゝつては、遊戯そのものが、本當の生活であるといふこゝの理解出来ない所に大なる誤りが存在してゐます。大人自身の發達しきつた働きを支配するのと同様な本能を以て、又命令を以て、子供時代即ち兒童期全般をも律せんとするの、これより大なる誤りが何處にありませう。よろしく幼児教育の實際に携はるものは、茲に思ひを致さねば本當の子供の生活に即した賤けは出来なないであります。

# 乳幼児愛護週間に就て

財團  
法人 中央社會事業協會總務部長 原 泰

一

新緑の風薫る五月五日が巡つて來た。此の日の前後一週間を期して全國的に乳幼児愛護週間が催される。

私は幼かりし頃に端午の節句を待ち望んだと同じ心の躍動を感じながら此の週間を迎へるのである。

此の週間こそ全國各地に於て子供を持つ両親に「あなた方の子供を強く、正しく育てあげるやう出来るだけ注意して下さい」と呼びかけ、また廣く一般の人々に、「我が子を強く、正しく育てたいと心願つても、時々物事に餘裕がないため、それが出来ない親たちに、あなた方の力を藉して下さい」と共存共榮の心呼び醒ます日である。殊に今年、皇太子殿下の御降誕に、國民舉つて歡喜して居る折柄、過般 皇室 に於かれまして、廣くその慶びを國民に頒ち給ふ難有き思召を以て、母性並に兒童愛護の資として多額の御内帑金を御下賜に相成り、一層感激を深めて

居る際、第八回全國乳幼児愛護週間を迎へることは特に意義の深きを憶へるのである。

\*

我國の子供の出産数は歐米諸列強に比較して非常に高率を示して居り、誠に我國々運の隆祥を物語る瑞徴とも見ることが出来るのであるが、その一面に於て乳児の死亡する率も極めて多く、歐米諸文明國に比して最も劣つて居る現狀である。即ち昭和七年の調査に依るに、千人の出生に對して乳児の死亡する者百十八人の多きを示して居るのに、之を他の諸文明國に就て見るに、英國に於ては六十五人、佛蘭西に於ては七十六人、獨逸に於ては八十三人、和蘭に於ては五十人と言ふ低率を示して居ることは、種々複雑なる原因による事は勿論ではあるが、その主たる原因は歐米諸國に比較して我國に於ける妊産婦並に乳児の衛生上の注

意が低劣であり且つ之に對する保護施設が不備である言ふことを示してゐるものであつて、國家として又國民として誠に悲しむべく、憂慮すべき重大問題である。

\*

人類文化の發展は、無限より無限に至る時の流れの上から次へ次へ生れ出づる新しき生命を、より良き状態に導き育て、行く事に依つて望まれるのであつて、その導き育てる仕事こそ、親の義務であり、又國家社會の務でもあるのである。幸に我國民は古來より兒童を愛撫することは外國人も羨む程濃かなものがある。然るにも拘らずその子供達の死亡する數が斯くも多數であると言ふ事は返すくも遺憾千萬である。就ては我々は深くこの點に想を巡らし、その原因を探索し、その對策、施設を講じなければならぬのである。

\*

試みに我國乳兒死亡の原因を見るに、その最高位を占むるものは營養不良、發育不全、生活力薄弱等の先天性弱質に云はるゝものであり、次ぎは肺炎及氣管枝炎等の呼吸器疾患下痢腸炎等を主とする消化器系統の病氣が、多數を占

めて居るのであつて、その依つて來るところは第一に親の育兒知識の不充分に云ふことに歸すべきであるに考へられるのである。所謂盲目的愛に云ふのはこの科學的知識の伴はない愛撫であると思ふにつけても、從來我國民のその子供に對する愛撫が徒らにこの盲目的愛撫に過ぎなかつたのではなからうか疑懼せらるゝのである。その二は母性並に兒童保護の施設が不完全であることであるが、歐米に於ける乳兒死亡數の低減は多く是等小兒及妊産婦の保健施設の完成に依つて、漸次その目的を達しつゝある例に依つても明らかなる處であるが、之を我國に就いて見るも、最近兒童保護施設が段々増加發展件つて、乳兒死亡率は漸次低減の趨勢を辿りつゝある事例に依つても明かである。

\*

更に乳兒の死亡は單に乳兒出生後の諸原因のみならず、既に母の胎内に在る時に於て、妊婦の環境、遺傳、健康状態等の如何に依つて多大の影響を蒙るものであるから、母性の保護に兒童の保護とは分離して考へることが出來ぬのであつて、子供の保護は母親の保護が完うせられて初めて

その目的を達するこゝが出来ると言ひ得るのである。

然るに現代の社會に於ては、財界の不況、人口の過剩等の社會的刺戟によつて、多數の婦人を職業戦線に驅逐し、會社、銀行、工場、鑛山、その他各種の職場に於て勞働に従事する婦人の數は年々増加の傾向にあるのである。勿論、鑛業法、工場法、その他の法律に依り、或る程度の保護規定が存在して是等勞働婦人のために備へる處絶無き云ふには非ざるも、母性竝に兒童の保護法規としては甚だ不充分なものである。當局竝に國民は此の際一層社會の情勢を正確に認識して確固たる母性竝に乳兒の保護法制の制定せられんことを祈つて已まないのである。

\*

殊に最近の特殊傾向として見逃し得ない事は、農村の乳兒死亡率が都市のそれに比較して依然高率を示しつゝあることである。輓近經濟界の不況に伴ひ農村の疲弊の甚しいことは、今更申すまでもないのであるが、この荒れ果てた寒村に生れ、寒村に育つ兒童竝にそれらの母親の保護こそ、農村文化再建設の基礎工作とも申すべきであらう。物を奪はれ、人を奪はれ、更に最愛の幼き者までも奪はれんこ

てゐる農村へ母性ミ乳兒の保護の施設を與へる事は、刻下の急務中の急務であるを思料する。

中央社會事業協會に於ては全國兒童保護事業會議の決議により昭和二年我國乳幼兒死亡率の重き遺憾なる實情に鑑み、その低減を圖る爲め、育兒知識の徹底ミ妊産婦竝に小兒保健施設の普及を目的として、全國乳幼兒愛護週間を主唱開催してより茲に八年、その間不尠官民の御協力を得て着々その効果を擧げ、當時は兒童保護施設八百餘りでありしものが、最近には二千に垂んするの状態に進み、從て乳兒の死亡率の如きも當時出生一〇〇につき一四・二でありしものが、昭和七年には一一・八に減少するに至つて居ることには眞に喜びに堪へない處である。

然しこれを對外的に見るならば、先進諸文明國に比較して、未だ及ばざること遠く、又國內的に見ても農村竝に都市に於ける乳兒死亡率の懸隔のあること等を考へるならば、今後國民竝に當局者は、將來社會の各層に於て充分なる活動を爲し得る數多の健全なる國家成年を作り出す努力の第一歩とも申すべき乳幼兒愛護事業に一層の努力ミ研究を惜んではならぬと思ふのである。

# 誰にでも出来る実験 (二)

東京女高師附属小学校主事

堀

七

藏

一六

## はしがき

幼稚園の幼児や小学校低学年の児童相手に誰にも出来る簡単な、しかも特別な道具や薬品なしで出来る実験を思付くまゝに説明して編輯子の注文を満足するこゝにする。勿論理論的な説明はぬきにする積りではあるが、例の癖で、小理窟を並べるこゝがあるかも知れない。しかしそれは讀者の方で大目に見て、こぼして貰つても差支はない。但し讀者が必ず一回も二回も出来るまで、よく実験を試みるこゝだけは注文せねばならぬ。やつて見ないで、「出来るな」ミ、自惚れては困る。出来るに相違ないが、試みずして放任すれば、出来る実験でも出来ないものである。

## 二

古いハガキ一錢の青銅貨でも、また五十錢銀貨でも用意する。その古いハガキを机の所に置く。最も圖のや



うにハガキを半分以上机の端より出して置く。そのハガキの上に貨幣を載せて置く。この古ハガキを鞭で打ち落しても、貨幣が机上から落下せぬ。試みに古ハガキを徐かに鞭

で打ち落すこ  
貨幣も落ち  
る。またハガ  
キがハガキな  
ごの如き丈夫  
な紙である  
ミ、ハガキを  
打つたとき、  
貨幣が弾き上

げられて矢張り落ちる。それでこの実験には古いハガキがよく、鞭は急にハガキを打つやうでなくてはならぬ。幾回

も練習させることによつて幼児でも児童でも面白い運動さ  
なり實驗が上手に出来るやうになる。

### 三

五十錢銀貨を四枚か五枚を糊で附著させたものを、かの  
古ハガキの上に立て、置く。圓いので机上より落下し易い  
から、之をうまく立てることが、一つの練習になる。この  
古ハガキの上に立てた銀貨を落さないやうに、ハガキを急  
に打ち落とす。このときは前の實驗よりも一層手早くハガキ  
を打ち落とすことが肝要である。もしのろいとき、銀貨はころ

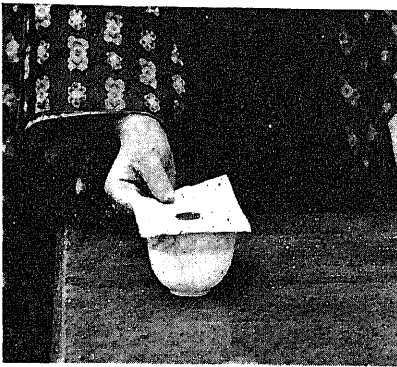


ころま轉がつ  
て机上より落  
下するに相違  
ない。幼児や  
児童には一寸  
六ヶしい實驗  
である。

### 四

名刺を左手

の人さし指の上に載せて、その上に銀貨を置く。このこと  
だけでも幼児には中々六ヶしい。名刺も銀貨も落ちないや  
うに、人さし指の腹の上に載せる。そして右手の人さし指  
を曲げて名刺に近づけ、右手の人さし指で名刺をはぢいて  
まばし、銀貨を落さないといふ實驗。これも右手の人さし  
指は名刺をはね上げないやうにすると共に、またはぢき落  
すやうにしてはならぬ。成るべく左手の人さし指を胸の高  
さに差上げ、右手の人さし指で真直に名刺をはぢく。する  
と名刺は銀貨の下からするつみ飛出して向の方にまぶが、



銀貨は依然として  
人さし指の上に鎮  
座してゐる。まこ  
こに面白い實驗、  
しかして手際を要  
する實驗、サアや  
つて御覽。

### 五

茶碗でもコップ

でもよい。その口を上に向けて机上に置く。そしてその上にハガキを載せ、またその上に貨幣を載せる。そしてハガキを手まり早く引きぬいて、貨幣を茶碗なりコップなりの中に落す実験である。若し茶碗の外に落すやうでは落第とする。そろ／＼ハガキを引くこ茶碗なりコップなりの外に、貨幣の落ちるこ必定で、落第の部分になる。うまくハガキを引いて貨幣を中に落すのが上手。及第でせう。

## 六

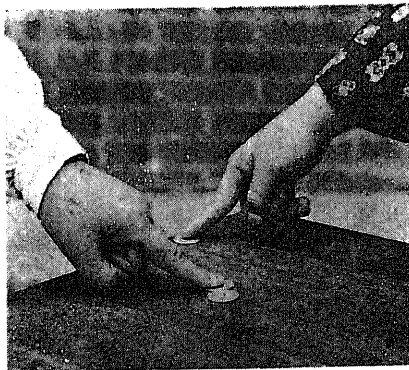
この実験を一層手際よく、また面白く行ふには爛徳利の



口に厚紙の輪を載せる。この厚紙の輪は厚紙を幅四厘位、長さ五十厘位のもの、縫針で留

めてつくるがよい。徳利の口の眞上に貨幣を置く。そして厚紙の輪を手早くはぢいて貨幣を徳利の中に落す実験。これは中々熟練を要する実験である。徳利の代りに廣口瓶でもよい。

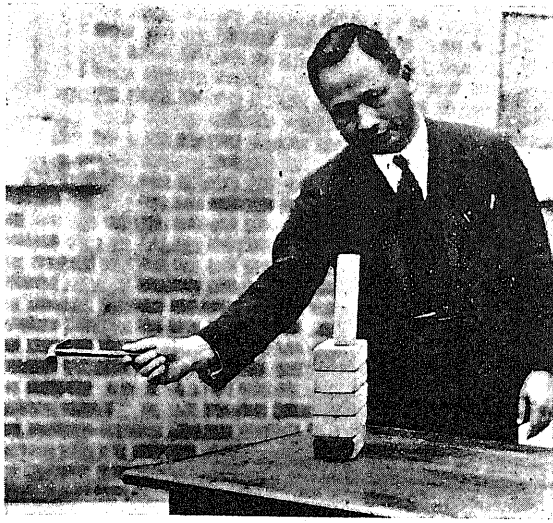
## 七



壹錢銅貨三枚を用意する。そして一枚(これを(1)とする)を離して置き、他の二枚(2)(3)を相接して机上に置く。そして一人の幼児に(2)の銅貨を押しさせる。(2)を

(3)の銅貨を指で動かすこなく、(1)をその間にわり込ませる方法。(1)の銅貨を指にて押しながら、(2)の銅貨に打ちつけるこ、(2)を(3)の間が開くから、(1)を指で押

へたまゝ(2)を(3)の間に出来るこゝが出来来る。(2)を強く押へて居れば、(1)を(2)から成るべく遠く離して置いて、強く(1)を(2)に打ちつけるこゝ、(3)が見事に(2)から離れるから、(1)を(2)を(3)の間に出来るこゝが出来来る。(3)を指で押しやつたり、(1)の銅貨で離すこゝ



が必要である。

## 八

玩具の達磨落さすがあれば面白い。下の方の板(1)を槌で打出して達磨を落さないこゝが出来るか。(1)を成るべく強く槌で打つこゝが肝心。(1)を打出して、更に(2)を打出す。(2)を見事に打出して達磨が落ちなくば、更に(3)、(3)を工合よく打出すこゝが出来たらば、(4)をいふ工合に、だんくくやつて行く。この玩具がなくば積木を五枚位重ねて置いて、だんくく下の積木を打出して上の方をくつさず倒さない實驗を幼児にさせてもよい。

## 九

チーブルでも夏蜜柑でも、二本の糸で吊す。丸い果物を糸で吊すのであるから樂罐頭に鉢巻するよりも六ヶしい。うまく落ちないやうにしばらねばならぬ。そして上の糸で、その果物を吊す。そして果物から下がつてゐる糸を引く。ごちらの糸が切れるか。うまくあてたものにその果物を與へるか。上の糸が切れるか、下の糸が切れるか、上の糸を切らうと思へば、下の糸を徐に強く引く。また下の糸を切

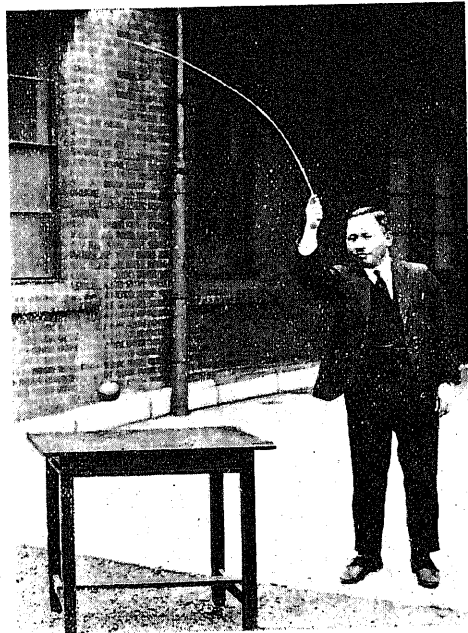




らうと思へば、急に下の糸を強く引くがよい。急に引けば下の糸が切れ、徐に引けば上の糸が切れる。

一〇

釣り竿の先から細い糸をつけ、その糸の先端に林檎でも夏蜜柑でも、また小石でもしばつて置く。そして糸を切らないやうにその果物なり小石なりを釣り上げる。さうすれば見事に釣り上げるこまが出来るか。急に釣竿で引上げる



ミキット糸が切れるに相違ない。靜かに釣竿を持上げるミ、細い弱い糸でも切れずに、重い物を吊り上げるこまが出来る。これは大きな魚を釣上げるの秘訣である。

# 扁桃腺の話

醫學博士 廣 瀨 興

幼児が幼稚園に入園し、或は兒童が小學校に入學し、先づ體格検査を受ける。そして、よく「扁桃腺肥大」といふ診断を通告簿に記るされるものが多い。家庭ではそれに對して如何すればよいか適當の指示を望むのが當然である。

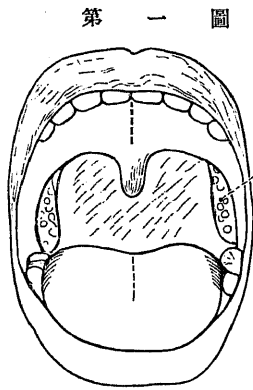
扁桃腺にも色々ある。

一般の人が扁桃腺といつてゐるのは、普通口蓋扁桃腺のことで、口腔を開いて奥の方を見るに、口腔の入口で、上の方は懸雍垂、兩側には皺襞がある。その皺襞の處に一つの腺様組織がある。唾液腺や涙腺の如く外へ分泌する機能を有する組織、または甲状腺や副腎の様に内部の血液の中に一種の分泌をする組織、即ち内分泌腺といふ。一般に腺組織といつて居るが、扁桃腺もこの一種の腺組織である。

この口蓋扁桃腺を普通單に扁桃腺といつてをるが、實は

扁桃腺は兩側の口蓋ばかりではなく、舌根部にも又鼠咽腔部にもあるので、三種類の腺様組織、即ち口蓋扁桃腺、舌根扁桃腺、及び咽頭扁桃腺と丁度咽腔を輪狀に取り巻いて

口蓋扁桃腺



ゐて、之をワルグイエル氏咽頭環といつてゐる。

さういふ役目をするか。

この三種類の扁桃腺は他の色々な

腺組織と同様に、何等かの生理的作用があるのであらうといはれて、今日まで色々研究されてゐるにも拘らず、未だにはつきりした定説はない。昔はこれを胎生期の遺残物

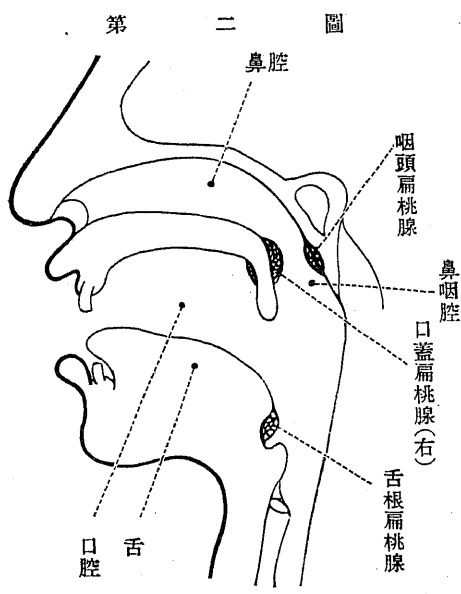
だらうといつたり、或は嚥下作用を滑らかにする爲に粘液性のものを分泌するものだしいつたり、或は消化作用を援助するものだしか、或は唾液、鼻汁、涙液の過剰の場合に吸収するところだ、なごこいはれたが、現今では信じられて居らぬ。又血液中の異物や細菌を濾過して外部に排泄するところであらうといつた時代もある。近頃では甲状腺の様一種の内分泌機關であらうと稱する説もある。而しこれも信ずるに足りない。それで最近ではこの扁桃腺は生理の場合には身體に何かしら一種の保護作用をするといはれてゐる。ところがこれは非常に病的に變化し易く、病的になつた場合には、却つて身體に有害な作用を及ぼすといはれて居る。

この扁桃腺は五歳乃至十歳の間に段々増殖して來るが、尙一層成長するに隨つて萎縮するのが普通である。處が萎縮の傾向なく、段々増殖肥大して行く場合は、色々身體に障碍を起して來る。其の時に始めてこれを切除するとか、剔出するとか、或は其の他色々の手當をすることになるのであるが、扁桃腺のあるのは生理的であるから、其れ

が病的になつたか、ならぬかを判断して處置しなければならぬのである。

### 扁桃腺肥大

扁桃腺の病的の状態は、先づ口蓋扁桃腺を述べますが、普通に扁桃腺肥大といふのがこれのことで、小學校の體格検査などで一番注意される疾病である。前述の様に扁桃腺が單に肥大して居るだけでは病的とは云はれないので、



色々身體に障碍を起す場合に病的ミ云ひ得るわけであつて、この扁桃腺の肥大に二種類ある。即ち一つは單純な肥大で、これは

感冒や其の他色々の熱性病の時に罹り易い。又デフテリアであるとか、百日咳であるとかの疾病の時に、冒されやすい。そしてこれは又後述する慢性扁桃腺炎に移行する虞れがあるから注意しなければならぬ。

この病氣に罹るミ口で呼吸をしたり、睡つてゐる時に鼾聲を立てたり、睡眠が防げられる、難聽になつたりする。

これは歐氏管が塞がれて鼻ミ耳ミの流通が害されるからで、尙一層ひどくなるミ、呼吸困難になり、屢々咽喉を痛め易く、ちよつと寒いミ風邪に罹つたり、發熱したりする。斯様な症状を始終繰り返す場合には扁桃腺の手術を行つた方がよい。扁桃腺手術には、切除ミ抉出ミの二つあるがこの肥大の場合には切除でよい。又レントゲンで治療する場合もある。

### 慢性扁桃腺炎

今一つの口蓋扁桃腺肥大は慢性扁桃腺炎ミいつて居る。

これは前述の扁桃腺肥大ミ違つて自覺的症狀が割合に少い。而し咽喉に始終異常な感じがあつて氣持が悪い。又頭のミところを常に壓迫される感じがして、不愉快である。これが尙大きくなれば、前のミ同様に、嚥下困難ミなり、鼾聲をたてたり、發熱したりするのは勿論である。そして風邪が流行するミ一番先に罹るミか、或はデフテリア、百日咳に罹り易いミこなきは扁桃腺肥大ミ同じである。

この慢性的な扁桃腺炎は、單純な扁桃腺炎の如く切除しただけでは仲々治癒が出来ない。この場合には扁桃腺を抉出する。即ち根元から抉つて取つて終はなねばならぬ。それを只切除しただけにするミ再發する。よく扁桃腺を取つてしまつたけれども、又同じ様な症狀が残つて居るミいふのは、抉出しないからで、慢性の場合はすつかり抉り取つてしまふ事が必要である。

### アデノイド

次に咽喉扁桃腺肥大であるが、これは謂ゆる腺様増殖症

さいひ、またアデノイドもいつて、扁桃腺肥大や慢性の口蓋扁桃腺炎と共にワルダイエル氏の咽頭環の一部分をなして居るもので、小兒の間は増殖の傾向をもつて居るが、大人になるに随つて萎縮して来る。ところが子供の體質によつて、年齢が長ずるにも拘らず、却つて肥大の徴候を示して来るこゝがある。其の原因はつきりしないが、慢性の刺激なき一つの原因で、そればかりでなく何等か體質によるらしく、さういふ體質をもつて居る子供に起るので、随つて兄や姉にあるこゝの子供にもあるさういふ様に、家族的に來る場合を屢々見受けられる。

この腺様増殖が段々増大して來るこゝ、局所的には鼻が詰つて來る。即ち鼻閉塞を起す爲に、口で呼吸するやうになり、就中睡眠中鼾をする。そして睡眠が不安になり、随つて疲労し易い。そして聲に反響を失ひ閉塞性鼻音さいつて鼻の詰つたやうな聲をする。これが乳兒の場合には鼻から呼吸が出來ないので、非常に哺乳が苦しくなつて來る。唇を始終開けてゐて、顔面の筋肉が弛緩して間の抜けた様になり、終りには鼻根が扁平さになり、眼瞼は下垂して生氣乏

しく、一種獨特な顔貌をしてゐるから、高度なものは一見して分る。それから尙耳に影響して、中耳カタルや難聽を起し甚だしい場合には口が始終開いてゐる爲に、上唇が變形して齒列が不整になり、息苦しい爲に胸廓が鳩胸さになり、食事に際して咀嚼不十分の爲、胃腸障礙を來すこゝになり、終には精神の集中が困難になつて、記憶力減退し、非常に疲労し易く、随つて學業成績が不良になる。又夜尿症になり甚だしきは癲癇様の發作を起す場合もある。

この腺様増殖の場合は特別それによつて障礙がなければ手術する必要がないけれども、耳が遠くなつたさか、或は鼻が詰るさか、口で呼吸をするさか、睡眠が不安になるさか、記憶が衰へるさかといった様な場合には手術した方がよろしい。

### 手術するか否かの判斷

これ等全體の扁桃腺肥大症の子供は、前述の如く特別の體質をもつて居るのであつて、この對應策としてはさうしても體質を改造するさか、さういふ事が一番大切な眼目である。そ

れには平常一般の榮養や、其他保健上の注意をすることに  
が肝要で、食物の遍食を無くすること、日光浴をすることに  
か、塵埃や煤煙などの少い清淨な空氣を吸はせる様に注意  
しなければならぬ。尙斯様な子供は所謂腺病質の體質を  
持つて居る事が多いから、以上の注意の他に肝油を服用さ  
せること、其他腺病質に對する注意をしなければなら  
ぬ。尙五、六歳の頃に一度よく専門醫に診せ、大體の指導を  
受けて置くことが必要である。それから後一、二年して前  
の醫師にもう一遍診察を受け、前の時と再度の検査の時の  
様子を比較して貰ひ、さうも小さくなる傾向がないことか、  
又腺増殖の爲の症状が増加して来るやうな傾向があるなら  
ば、そこで始めて小學校に行く前の六、七歳頃に切除なり  
抉出を行ふことが必要で、若し萎縮の傾向があれば必ずし  
も手術を行はなくてもよいと思ふ。それは扁桃腺の生理作  
用といふものに定説がなく、或は案外身體にまつて有利な  
作用を有して居るかも知れないから取らずに濟むものなら  
ば其の儘にして置く方がよい。而し増殖の傾向があれば幼  
兒期には左程のことは無くとも、學齡期には色々前述の症

狀の爲に身體ばかりでは無く、智能上にも影響を來すか  
ら、學齡前に適當の處置をすることはいふことは非常に大切な  
事だらうと思ふ。

#### イマジネーションスキトピー

あまりにも有名な菊池先生のスキトピー。毎日コッソ  
リ飽かず眺めてゐらつしやる菊池先生。この處なか〜  
御苦心の態。

バケツに何杯も水をおやりになつて見たり、肥しをお  
やりになつて見たり、あたりを見廻してから、蔓を引張  
つて御覽になつたり、根元をお掘りになつたり（地上に  
表れる部分が一分でも高くなりませう）。それから……。  
まるで誰れかさんが唯一人、鏡の前に、低いお鼻が少  
しでも高くなる様にと、御白粉をゆつて見たり、剃して  
見たり、つまんで見たり頬つべたをおさへて見たりする  
のと同じわけ。

ほんとに、スキトピーがアメで出来てゐればよろしく  
御座いますのにね。

# 幼児の教育と一錢玩具の話

松 前 福 廣

## 一、ムキ(當てもの)

之は子供の生活の中に可成の重大さを占めてをります。

人間に射倖心ミか投機的な心持が取去られてしまはない限りに於て、斯うした方法は常に行はれませう。子供に對して喰込むよい商賣の方法ミして。

先づ御存じの方もあるでせうが、見逃して居られる方々のために一應説明致しませう。當てものミ云ふのが一番の適言かも知れませんが、一枚の紙に小さく卷いた紙が張つてあつて、この紙に當りはづれの圖形が書いてあります(それを一つ一錢ミか、二つ一錢ミか云つて買ふのです。するミ一つに對して當りの時は大きな賞品を呉れ、はづれは小さなものを呉れるミ云つた様なわけで有ります。この紙に張つてあつてそれをムクミ云ふが、「ムキ」の言源であり、其の原形であります。現在では小さな形に紙を折つ

たもの、三分四方位の大きさに切つてあるもの。二枚合せでその中に印刷してあるもの、キャラメル of 包紙の中に札の入れてあるもの、甘納豆の袋の中に入れてあるもの、ミ云つた様に原形のムキは餘り店先になく、變形したミ云つてよいのでありますか、進歩した形ミ云つてよいのでありますか、一寸見ては判明しない様にしてあります。

而してこのムキ、當てもの種類を申しますと、一軒の問屋であづかつてゐるものは先づ二十種より三十種に及んでゐる様で有ります。然しこの種の中で一番多く出るものは何ミ申しましたも、キャラメル・スルメ・甘納豆・アングスの四種が大關格を爲してをります。それで甘納豆では一ヶ月一萬五千圓から二萬五千圓の賣上をする製造兼問屋が東京に二軒もあるミさへ聞いて居ります。又スルメでは、この「當てもの」製造家が當てものにスルメを使用するかしない

か云ふ事が、市場の相場を左右した事さへあつた事聞いて居ります。

斯うした様な材料から考へてみますと、少くとも一月に二、三十萬圓云ふお小遣ひが斯うした投機的方法に使はれ、子供を毒してゐる事云つてよいのであります。子供を毒してゐる事云ふことには二つの意味があるので、一つは衛生的に毒してゐるのでありまして、他は教育的な意味で有ります。何にしるこの當てものを駄菓子屋なり、小玩具屋なり、文房具屋(學校前)なりが問屋から買つて來る時には、一組いくら云つた様に當物のムキ札賞品である菓子ミ揃へて買つて來るのでありますから、一組は終りになる迄一組であるのであります。ですから従つて一組が賣れて了ふ迄残されてゐる。やがて中には「かび」が生えてくる事か、濕つてベトになつてくる事か、水物を使つたムキでは沈澱が生じてくる事か、要するに細菌の増殖に一番便利な形になつてくるのであります。斯うした様に商品として製造家や問屋の手を離れる場合には比較的に不衛生の状態になつても、それが小賣商の手に渡つてからは必ず

しもそれが不衛生的に取扱はれてゐない事は云へないのであります。いはんや、その製造からしてが問題なのであります。

又教育的の方面から申しますと、前記したメンコ(ペイ)の場合にはそのゲームの面白さか運動さか、心理的影響云つた複雑な問題がありますが、このムキの場合にはただ一錢でよい大きなものを引きあてる事云ふ、萬一の機會を捕へやうとする一つのトバクの心理に過ぎないのであります。大人の生活にして考へる事丁度花合せや麻雀にお金をかけて勝負するの事、サイコロで偶數が出たら、奇數が出たら云つてお金をかけて勝負するの事同様なのであります。即ち花合せも麻雀も決して始めから悪いゲームでもなく、たゞお金をかけてトバクに使用することによつて悪が生じてくるのであります。ですからゲームに對して興味を増すためにお金をかけるのであります。サイコロでお金をやりこりする場合には云つた通りお金をやりこりするためにサイコロが使用される事云つた様に、前者は主客が轉倒してしまふのであります。即ち今申述べた様な事情がム



キミメンコ、ベイの場合にも等しく考へられる事なのであります。たゞ賞品を取りたいためにその札を買つて高い品物であることを知りながら一錢を出して偶然を機して買つてみるミ云ふ事になつてゐるのであります。

この様にムキにこり出すミ子供は一度に五錢も拾錢もお小遣ひを使ふ場合が出来てくるのであります。惡の芽生や習慣がそうした處に生じる場合が可成多くあるのであります。

こんなわけでこのムキを子供達の世界から取り去りたいミ私達は願ふのでありますが、警察關係であるミか、學校方面でやかましく子供達に干涉されても依然として子供達の世界から斯うしたものゝ姿は消えませぬ。一時バツミなくなつたかと思つてゐるミすぐまた賣られるミ云つた様に、又干渉者の目にまもらない様な形式になつて賣られるミかする様になつて商品化されてくるのであります。ですからその品については極力賣られなくなる様に運動するより外に方法はないのであります。

## 二、前項と其他の使用法を兼ねたもの

石ケリ・ラムチダマ・オハジキの様なものになります。その使用のされ方一つで善惡兩方の玩具になつてしまふのであります。これらのものミお金ミかへて見るミそれは現在漁師細民家庭の地區等に立派に〇〇トバクミ云はれてゐるものになるのであります。例へば一間乃至二間先に圓を重ねて書いて、それの中にオハジキを投げこみ第一圓に入つたらいくら、第二圓に入つたらいくら、そのゲーム参加者より取るのでありますがこれらは前申しました立派なトバクであるのであります。又石けりで申しますミ四尺位はなした處に圓を書いてその中に石けりを入れて、これを自分の持つ石けりを投げて敵のものをはじき出すのであります。そうして外側に二重三重四重の圓が書いてあつて、その第〇圓の外に出た時に何ケの石けりを取るミ云つた様なゲーム法に使用されるのであります。勿論この場合のこの石けりはあまり面白い使用法によつて遊ばれてゐる玩具だミは申せませぬ。然し石けりがほんさうの石けりに使用されてゐる場合、おはじきがおはじきに使用されてゐる場

合これらのゲームは決して悪いものだ云ふ事は出来ません。否善良な遊び方を持つてゐるものだから云つてよいのであります。

おはじきよ。おはじきのゲーム中に數を數へ、加減を教へ、おはじきによつてつくられる圖形に注意をさせ、自然の持つ統制力の美にその目を開かせる等、若しおはじきを子供達に遊び乍ら指導を加へるにすれば、その使用法の數は無限りとなり、その玩具の有効さも無限大に擴大されるのであります。然しこれらの玩具が指導のない場合に如何なるか云申しますに、子供達の少い経験と興味とによつてその遊び方を考案しますから、そのゲーム方法を如何様に考へてもそれは、「敵を負かす」「より多くこゝろ」云ふ事になつてしまふのであります。

云申しましても「石けり」本來の遊びである「石けり」の方法になるに、その源の石けりに改良を加へ創案を加へ、殆ど數へられない程多くその遊び方を發展させてゐるのであります。

そう云つた意味からしてもこれら前二項に述べた玩具も子供の生活を誠によく把握したもので有り、之をよく指導

すれば壹圓拾圓の玩具にもまさる效用を持つ云つてよいのであります。

又これらの玩具の遊び方について見逃せないもう一つの事實を東京での遊び方も、横濱での遊び方も、静岡仙臺濱に於ての遊び方も同様でありそう大いして變化がない云ふ事でありませぬ。又フランスにマールブルク稱するこの種の遊びがあり、臺灣の生蕃中にもこの種のものがあり、近頃の爲替安から斯うした玩具の輸出も激増してゐるのであります。そうして日本の子供によく賣れるものは向ふへもよく行く云ふ事が玩具輸出商の言葉であります。子供の世界の興味は世界共通でありそれを遊ぶ人種の文化の程度を超越して共通であります。この種の玩具が數十年數百年の歴史を持ち乍ら原形の上に進歩がない、又形を進歩させても舊來の形のものが以前とて舊來の位置を保つてゐる云ふ事に注意されなければなりません。然し形の上では進歩がない云申しましたが勿論材料の上では進歩がない云申すものではありません。土製から貝殻ガイ小石に、それから焼いた土製のものから紙製とか硝子瀬戸焼等のものになつて

来てをります。従つて色彩も材料そのものが持つ特色ある色を持つ様になつてをります。

以上述べました様な事實から推して考へて見ましても、玩具ミ人種の進化ミ子供の成長ミ云つた三つは結びつけられ、この三つの關係は我々が日常子供に接する上から見逃せない最も重要な事實であり證明であるのであります。ですから右に述べました通りに「遊び」は興味であり、本能的欲求でありますからこの方法を子供達の教育方法にあてはめる事が殊に幼児に取つては最も必要な事でありませう。皆さん算術の時間です。五つに三つ加へるミいくつになりませう。「太郎さんが始め十錢持つてゐて紙を三錢買つてそれから二錢の筆を買つて、それからスミを買ふのに四錢つかひました。そうしたら今太郎さんはいくつ持つてゐるでせう」「さすましこんだ窮屈な算術のお時間よりは」今度は私の番五つ宛おはじきを出すのよ、「敗けてしまつたの」、「それならあなたのおはじきはいくつ残つてゐるの」「ミ云つた興味を通して算術のお稽古をさせた方が少くミも幼児にはぎれだけか有効でせう。

### 三、ゲームもの

一項二項について餘り書き過ぎた様です。お許し下さい。第三項のものになりますよよく出来てゐるものはいよいものだミ云ふ事になります。闘技欲の變形がこの玩具になつてゐるのであります。先づ軍人將棋、軍人合せミ云つた様なものは陸海軍の將校の階級を教へ兵種を教へませう。又動物合せは動物に對し親しみを持たせ、動物の概念を與へる様に出来ませう。家族合せは家族制を教へ禮儀を教へる事が出来ませう。斯様にして少しのヒッカ、リを利用して教育の精神をより上げるのも、教室外の教育ミして中々無視出来ないものがあります。殊に後述するものに(郵便あそび、銀行ごっこ、おまゝごこ等)なりますよ尙その感を深くいたします。

——乳幼児愛護週間のために時間がなく餘り多く書けなかつた事をお詫びいたします。

# 幼童教育と童謡 (4)

葛原 菫

## D、順序を意識させるに役立つ童謡

何節かに分れてゐる童謡で、その第一節が何であり、第二節が何であるかは、自ら、順序が決つてゐなくてはなりません。既述のものの中にも、實は、それが有つたのです。が、改めて、この點について、心して、世の多くの童謡を検討して、幼児へ提供したいと思ひます。

即ち、前々月の「夕やけ小やけ」の如き、それであります。自らなる順序があるのです。

——鳥も歸るから、私も歸ろ——  
からすがなくからかへろ

でありました。「小さな鯉」(鯉ミヌ)もさうであります。

○

それと同じく、次の「シャボン玉」も、まづ、ふかれて、

管の先で、クル／＼ミ廻り廻り、更に／＼ふくれるので、それで、

あんまりふかれて破れるな

なのです。ミころで、「シャボン玉」遊びの次のプロセスは、管の先から、シャボンが離れて、宙に浮いて、フワフワ飛んで行く事です。空に上つてゆく事です。空高く、キラ／＼光つて、空へ／＼、です。そこで

あんまり上つて破れるな  
なのです。

かうした物の順序は、おのづからなるものであります。が、時に、その順序を紊るものがあつて、幼児に知らぬ中に、その不自然を、感じさせて居るものもあることを恐れます。

シャボン玉

梁田貞氏曲

一、ふくれるく シャボン玉

フワく吹けば クルくこ

まはつて ふくれる 管の先

あんまり ふくれて 破れるな

二、あがるよく シャボン玉

フワく ゆれて キラくこ

ひかつて 上るよ 空たかく

あんまり あがつて 破れるな

(「大正幼年唱歌」第二集)

次のも、同じです。幼稚園なり、小學校なりに、まつ、登園し、登校するのです。

「今朝も はよから ニコくこ

皆そろつて うれしいな」

なのです。そして、室内の

花瓶のお花

が目についたので、それで、

「花瓶の お花も お早う お早う」

なのです。次に、ベルがなつて、おけいこが始まるので

す。ですから、

「今に はじまる おけいこは

皆 大好き うれしいな」

なのです。それで、室の中から、外を見るこ、お庭の何かの木や、また、實は、お砂場のほこりにも、雀が、下りて来てゐるのです。雀は、いぢめられない事を、よく知つてゐて、早く来て、砂いぢりをしてゐるお子さんの仲間入もしてゐる氣で傍でチュン、チュンミ、朗らかに囀つてゐるのです。その雀言葉が人間に通じないばかりに、雀と人間との交渉が、そこでストップしてゐるこは、ほんこに口惜しいですね。さて、そこで

「お庭の雀も、お早う お早う」

なのです。

お早うの歌

弘田龍太郎氏曲

お早う お早う

先生 お早う 皆さん お早う

今朝の はよから ニコくこ

皆そろつて うれしいな

お早う お早う

花瓶のお花も お早う お早う

お早う お早う

先生 お早う 皆さん お早う

今に はじまる おけいこは

皆 大好き うれしいな

お早う お早う

お庭の雀も お早う お早う

(「幼年童謡集」第一集)

○

雀といへば、雀の童謡の多い中に、今では、時候外れになりましたが、雪ぎけ時の雀があります。これは、實は、雀に、

さここでも遊べて うれしいね

さいふのではなくて、自らに、

さここでも遊べて うれしいわ

なのです。それは別として、まづ、人間に近いところの

屋根の雪

を出して、それから、遠くして

道の雪

を出したのです。また、

第一節は、さけたね、

であり、

第二節は、さけたよ、

である事も、偶然ではないのです。特に心して、さうしたのです。「ね」には、對照ミ距離があり、「よ」は、すぐ手を握り合つてゐるのです。そして、前述のミほり、雀に話して悦ぶ心は、我自らの悦ぶ心を他へ話してゐるのです。

チュンチュン雀

チュンチュン雀よ うれしいね

雪がさけたね 屋根の雪

さけたね きえたね 軒の雪

さここでも遊べて うれしいね

チュンチュン雀よ うれしいね

雪がさけたよ 道の雪

さけたよ きえたよ 庭の雪

宮城道雄氏曲

どこでも遊べて うれしいね

(「筆曲童謡」第三集)

同じ雀ので、次の『すゞめ』は、まづ、あちらの屋根の雀を見つけたのは、遠きより始まつた観がありますが、實は、おのれの唼毛は見えないのと同じです。我がをる窓の上の屋根は、我には見えなくて、向ふの屋根、あちらの屋根ばかり、我には見えるのです。それで、まづ、

「あちらの やねで——」

なのです。そして、それは、小さな口を、口の割合に、バツ、バツと、大きく、開いて——さうです、開くさいふ文字通りに、六十度にも近いかと思はれるほど廣く開くのが、一聲毎に、目につく程、正に開いて、鳴くのです。一生懸命に鳴いてゐるのです。それで、その聲を聞いてゐるさ、その雀でない、他の雀の聲も聞えるのです。それが何處で鳴いてゐるのか、中々、分らなかつたのですが、それは、自分に近い、

「いちぢらの やねで——」

鳴いてゐるのです。そこでいはい、野球の見物に行つ

て、偶然、ついたスタンドの方のチームに聲援する氣になる様に、こぢらの屋根の雀に聲援して

「まげずに なくよ」

なのです。

すゞめ

小松耕輔氏曲

一、あちらの やねで、

チュンくくくくなくよ

口をば あけて 元氣よく

チュンく チュンくくくくチュン

さへづるよ

二、こぢらの やねで

チュンくくくくなくよ

まげずに なくよ 元氣よく

チュンく チュンくくくくチュン

さへづるよ

(「大正少年唱歌」第一集)

○

右の雀さ、似た形式をこつた敘述法によるものに、次の

「林檎ミ子供」があります。

八百屋の前を通つた子供が、その店先に竝んでゐる林檎を見た時の心持です。自分の事は、後にして、まづ、對照の方を、はやく氣ついたので。

「林檎の子供が外見てる」

氣がついたので。さて、氣がついてみるに、自分達も、その林檎ミ同じく、逆に、

「林檎を皆が見てまほる」

なのでした。

この二つの對照は、本來は、まづ、自分達が先に、林檎を見たのです。しかし、自分の事は自分には分りにくくて、まづ、對者の描寫に始まつたのです。

しかも、ごちらも、

「赤い頬つべを 竝べて 竝べて

圓いお顔を 竝べて 竝べて」

であります。これは、作曲者の、輕井澤の別荘に遊んだ先年の夏の作です。そこで「ほつぺ」「さいふ幼兒語を、入れる事を、互に、悦んだのでした。

林檎ミ子供

八百屋のお店で 外見てる

林檎の子供が、外見てる

赤い頬つべを 竝べて 竝べて

圓いお顔を 竝べて 竝べて

八百屋のお店を 見てまほる

林檎を 皆が 見てまほる

赤い頬つべを 竝べて 竝べて

圓いお顔を 竝べて 竝べて

(「幼年童謡集」第三輯)

噴水は、まづ、

ひつきりなしに 水柱が

高く上つて おもしろい

のです。ですから、第一節は、おのづから

「シュウ シュウ シュウ シュウ」

です。そして、面白いから見てゐる中に、

「風にふかれて 霧の雨——」

弘田龍太郎氏曲



がさぶのですが、それは、目に見えるより早く、見てゐるものゝ顔に、霧の雨が、降りかゝつて、

あゝ すどしい

こいふ順序です。ですから、

「サラ サラ サラ サラ サラ」

が、おのづから、第二節にあります。その順序を、こり違へる事は、ありません。

シユウ シユウ シユウ シユウ

顔に あたつて――

は大變です。實は、霧の雨ですから

顔に 降りかゝつて――

こいひたい所ですけれど。

噴水

梁田 貞氏曲

一、お池の噴水 おもしろい

ひつきりなしに 水柱

シユウ、シユウ、シユウ、シユウ

高く上つて おもしろい

二、お池の噴水 すどしいな

風に吹かれて 霧の雨

サラ サラ サラリ

顔にあたつて すどしいな

（「大正幼年唱歌」第一集）

最近でない小學國語讀本の卷一に、兄さんが繪をかい  
てをり、姉さんが字をかいてゐるレスンがあります。それ  
は、尋常一年なのですが、小學一年でなくても幼稚園の幼兒  
でも、姉や兄の眞似がしたくて、カバンをかけたなり、ラン  
ドセルを背負ひたくなり、おべんたうをこしらへて貰つて  
ブラ／＼下げて家の内を歩き廻つて、椽側に来て、朝食  
後、間もないのに、たべたがつたりするものです。

同じ様に、兄さんや姉さんの勉強の傍に来て、半ば羨ま  
しげに、半ば珍らしさうに、見てゐるのです。私も、幼  
時、兄の英語の字引を、手にまづつて、小さなく挿繪を見  
ては、兄に聞き聞きして、うるさがられた事があります。

この童謡なごは、讀本の、あの挿繪を大きくかいて、彩  
色も施したりして、それを示しながら、唱はせる事に、愉

快は、倍加する事を信じます。

早く繪や字を書きたいな

梁田 貞氏曲

一、繪をかく兄さん お上手ね

字をかく姉さん お上手ね

その繪は何の繪

その字は何といふ字

二、ほうく帆柱 立ちました

ほうく白帆が つきました

兄さん その繪は お船でせう

兄さん ほんごに いふ船ね

三、姉さん 上のは山の字ね

姉さん 下のは川の字ね

おやく お山の様な 山の字ね

おやく 川の様な 川の字ね

(「昭和幼年唱歌」第三集)

## E、敬虔な心を表はせる童謡

○

日本精神の、國體觀念の、精神作興のミ、成人教育には、

結構ですが、私は、一面、幼児から、日曜學校に親しましめるキリスト教の、さては、近年、佛教の施設を感心してゐます。長者を敬するこいふ事は、幼児から、理窟抜きに、養はなくてはならないこゝであり、一生を支配する宗教心の芽生も、幼時からこそ思ひます。しかも、近代の科學は、さかく、それから、凡ての人を遠ざけしめるこゝを、何しませうや。

茲に、次の一篇は、他にも、いろいろの役目を果してゐる童謡ですが、こゝでは、

「お手々 バチく、拜みませう」

ミ、やり、賑やかであり、ついで、

「お手々 合せて 拜みませう」

こ、極めて、靜かであるこゝに、意義を認めたいのです。そして、小松宮城兩氏が、別々に作曲して、何れも、宗教的香氣を深くこめられた事に満足してをります。

お宮こお寺

小松耕輔氏曲  
宮城道雄氏曲

お宮に 何が ありますか

石の段々 大鳥居

御手洗水 狛犬 お注連繩

お手々 パチパチ 拜みませう

お寺に 何が ありますか

大きい お屋根の御本堂

四本柱の 鐘つき堂

お手々 合せて 拜みませう

(「箏曲童謡」第七集)

(「昭和少年唱歌」第一集)

○

近年、さかくの問題が續出して、東京でも宗教系統の學校なごに、不敬ミまで進まなくても、軍事教官が、連袂辭任したなごの不祥事件さへありましたが、私共、外國語を、邦譯する時は、人稱代名詞に、階級が無かつたり、動詞そのものに、日本語ほごの複雑味がなくて、他の副詞か、副詞句の力を借らなくては、

仰せられました

なごの崇敬體の表現が全うされないので、まごごに、困りますし、また、よく、殊に、女學校の英語時間に、

「父がいつた」、「母がいつた」

ごなら、まだしもですが、

「お父様が、いつた」、「お母様が……」

ご譯する少女のある時は、聲を大にして、

「一寸、待つて——」

をかけて、「誰が——」ご反問して、

「お父様が、いはれました」

「お母様が、おつしやいました」

ご直さず事の面倒を重ねてをります。甚しいのに、なりますご、

ますご、

「王様が、行きました。彼は——」

ミ、平氣で譯してをり、多くの先生も、それで、フルマ

ークを與へる。

“The King went, and he……”

の譯語であるのでせう。それは、やがて、必要な時には

「天皇陛下がいらつしやいました。陛下は……」

ご譯させたいからであります。

私は、殊更に、「忠君の思想が、日本中の學校の教室で、

外國語邦譯の用語からも、素られさうなき、ひきく、神經を痛めてをります。それどころではありません。

「ベルギーの天子が登山して、岩から落ちて、

死んだつてサ。」

さいふ會話をきいて、ぞつとした其の時電車内の私でした。

かくて、私共は、昭和八年十二月二十三日の皇太子殿下御誕生を、總出で、おもひくくに、いろくくの歌を作つて、御祝ひ申上げたと同じく、忠君愛國の思想を、幼兒にも、植ゑつけたく、その方面の童謡も、今更のやうに、作らうとしてみます。

次の一篇は、十數年昔のものですが、此の理想の前驅をなすものとして、私は、大事にしてをります。

近年の御齒簿は、多く自動車になりましたが、先般、秩父宮殿下が、御名代として白耳義の陛下の御葬儀遙拜式に御參列の時は、御馬車でありました。私は、受持の兒童と共に學校の門前に整列して、拜して、殊に、久々に、正装の近衛騎兵の、勇ましき、又、美しさに打たれて、まこ

に、有難い事でした。この第二節の、終りが、

みんな そろつて 勇しや

近衛騎兵は 美しや

ま、誤まり歌はれてゐる事は、いつかも、何かで、申しとおきました。

近衛騎兵

外山國彦氏曲

一、皆 大きな馬に乗り

お馬車の 後さき 護衛する

バカくくくく

バカくくくく

みんな そろつて勇しや

近衛騎兵は 勇しや

二、皆 右手に持つ槍の

三角旗は 赤に白

ヒラくくくく

ヒラくくくく

みんな そろつて美しや

近衛騎兵は 美しや

この他に、私は、

「二重橋外の楠公さん」

を、今、作りかけてゐます。先年、長くも拜謁を許され  
ました時、

澄宮殿下の御頬のほ、くろを、『ほうくろ大將』こいふ童  
謡にし、又、幾首もの和歌にもして、自ら記念にしておき  
ましたのが、國民新聞に掲げられ、畏くも、皇太后陛下の  
お眼に止りまして、ほゝゑませたまうたご洩れ承はりました  
て、恐懼にたへませんが、義は君臣情は父子、それはやが  
て、直官様方へもの、臣下の情、私達は他に、奉公の誠意  
のさゝげ様もありませうなれども、まづ、歌謡づくりは、  
正義のために、至誠をつくして、この方面の作謠にも勵ま  
なくてはなりません。信じてをる次第であります。

次は『歌はせない童謡の活用』

スキートビー身上相談

幼稚園の皆々様、私は、菊池フジノ様のスキートビーで  
ございます。去年の秋の小春日に、この幼稚園の島に蒔か  
れたものでございます。その時、御主人フジノ様は、「私は  
いるんな花を交ぜないつもり、スキートビーで私の島を飾  
らと思ふの、緑の葉がきつしり茂つて、勢のいゝつるがク  
ルクルツとのびて、ピンク、紫、純白の花が一ぱい咲いて、  
……と、かうおつしやいました。お隣の御主人さんが「イ  
マジチーション、スキートビー」だなんて、私の事を雑誌に  
お書きになつた時、今に訂正日より、あつと云はせると  
憤慨なさいましたつけ。私共も、一同挨拶つて、他の五の  
島を睥睨する時を想像して見て、嬉しさで身内がぞくぞく、  
つとじたものでした。

ところがまあ、どうしたら宜しいでせう、聞いて下さい  
ませ。春は三月になつて、四月もすきて、さて愈々五月に  
なつて、黄水仙は咲き、チャリツプは咲き、そら豆も咲い  
てしまひました、一番憎らしいのは、従妹の疏どう豆が、  
隣で、さつさと咲いてしまつて、實までなつたちややありま  
せんか。それなのに、私共一同揃ひも揃つて二寸ばかり出  
たつきり、伸びも縮みもしませんの。生れては見たけれど  
……つて、いふわけでございます。肥しは下さる、霧よけ  
はして下さつたのですが、どうしたのでございませう、同  
じに植えられた及川様のは、ようく肥つて、もうちき咲き  
そうなんです。比べて見ながらきつと是は陽あ  
たりが悪かつたかも知れないとフジノ様はおつしやるので  
すが、如何なるものでせう、おんといふ様が、私共の所ばか  
りよけてお廻りになるつて事とございませうまい。  
かうやつて兎に角折角地上へ出て参つたのです。是から  
先、どうしたら宜しいでございませうか、幼稚園の先生方  
は賢い方ばかりだと承つて居りますので、恥をこのんで御  
相談申上げます。方法なり、妙案なり何卒御教へ下さいませ。  
お願ひ申上げます。

東京女子高等師範學校  
教授・附屬幼稚園主事

倉橋惣三先生新著

四六判三百餘頁眞美本  
挿繪澤山・實際風景を頗介  
定價二圓五十錢送料六錢

# 幼稚園の保育法と眞諦

## 保育法の最良權威者

東京女高師附屬幼稚園主事にて又文部省社會教育官を兼ねられ而も人間味豊かな人格者として天下定評の士である。

## 現代保育法原論完成

倉橋先生は稀に見る純眞の教育者にて著書少く系統ある著書は本書のみ。本書は懇願数年初めて完成されたる新著にて現代に於ける最も完備系統ある保育原論である。

## 世界一の設備皆掲載

小石川に新建築の東京女高師附屬幼稚園の施設經營は世界一なりと稱さる。本書には其大部分を居ながらにして見得る様に部分的全體的並に保育實際の多數の眞實を掲載す

- 【目次】
- 第一篇 幼稚園保育法の眞諦
  - 一 教育に於る目的と對象
  - 二 幼児生活と幼稚園生活の形態
  - 三 生活へ教育を
  - 四 幼児生活の自己充實
  - 五 幼児生活の充實指導
  - 六 幼児生活の誘導
  - 七 幼児生活の教導
  - 八 幼児生活の陶冶
  - 九 幼児の個性

- 十 幼稚園に於る保母の位置
- 第二篇 保育案の實際
- 一 無案保育
- 二 保育案の意義
- 三 誘導の保育案
- 四 保育案の採りどころ
- 五 保育案と保育項目

- 六 保育案立案度及徹底度
- 七 保育案と自由遊び
- 八 保母の創造性
- 九 保母の生活性
- 十 保母の保育過程の實際
- 第三篇 幼稚園の朝・二自由遊び
- 一 幼稚園の朝
- 二 自由遊び

版八  
東京女高師教授  
下田次郎先生著

代現教訓實話【第一卷】  
送價二・〇〇

版五  
東京女高師教授  
下田次郎先生著

代現教訓實話【第二卷】  
送價二・〇〇

此實話集は東京女高師本科へ入學した生徒に毎年「其の生涯に於て最も感動した體驗實話」を自筆させ、更に整理し、博士一流の麗筆で書き改めた實話集でありす。

現代我が國の女子最高學府へ合格入學した優秀純眞な處女の實感である爲、記載事實そのものが既に詩的であり劇的であり、そして多數人が長年月に渉る感話であるから多種多様千葉萬紅羅入にも興多く魅力あり迫力あるもので一度巻を開けば一氣に讀み下されば止められぬ程で家庭でも學校でも利用の道が多いものであります。

東大 京阪 東大 社會資合式株書圖洋東

東京市神田區保町一丁目・振替東京一〇三〇七番  
大阪市南區安内堂一丁目二番八地・振替大阪三九五五番

東京女高師教授 倉橋惣三先生 同校新庄よしこ先生 共著  
 附屬幼稚園主事 菊判四八〇頁  
 定價三圓六十錢

# 本日幼稚園史

**特色**  
 一、二十年苦心の結晶漸く完成す 大震災にて一時頓坐したるも再計畫の上蒐集考察研究完成す。  
 二、草稿千餘枚挿繪數百整理成る 倉橋先生畢生の努力と新庄先生懸命の助力にて此の名著成る。  
 三、日本幼稚園史として比類なし 歴代の皇后陛下行啓の榮を得し我が國幼稚園本山の記念作品。

**目次**

第一編 沿革及施設史	第一章 幼稚園開設前期	第一節 明治文化の建設	第二節 幼稚園開設の機運	第三節 學制頒布	第一節 女子師範學校の設立	第二節 女子師範學校附屬幼稚園の創設	第三節 幼稚遊戯場	第四節 幼稚園開設	第一節 女子師範學校附屬幼稚園の創設
第二章 設立後の經過	第一節 開園及開業式—皇后皇太后兩陛下下行啓—	第二節 女子師範學校附屬幼稚園(一)	第三節 創立當時の規則及學年休業日	第一節 建物庭園及職員	第二節 保育科目及保育用具	第三節 幼稚園參觀記及追憶	第四節 女子師範附屬幼稚園(二)	第一節 行啓	第二節 恩物の多數その他
第三章 保育の實狀	第一節 一日の開誘(保育)	第二節 保育科目の恩物	第三節 保育科目の改正	第一節 行幸	第二節 保姆養成機關	第三節 保姆練習科の設置	第一節 行啓	第一節 公令、功績者	第二節 功績者
第四章 其の後の普及	第一節 中村正直氏	第二節 松野くら氏	第三節 豐田英雄氏	第四節 小西信八氏	第五節 西信八氏	第一節 著書	第二節 手記	第一節 公令、功績者	第二節 功績者

大好評  
 久留島武彦先生新著 定價貳圓五拾錢  
 送料拾六錢  
**童話久留島名話集**

□ 優美卓絕、學校家庭用高級兒童讀物。童話及び兒童劇實演の參考書

□ 壇上に立つては日本一の定評あり現代の童話王として天下周知の我が久留島先生の數千のお話の中から名話傑作を選りて十八番集。童話壇上生活に三十年、其間最も會心の傑作とさるゝ十三話を選りて先生自ら筆を採り、悉く壇上の實話形式を以て詳記されし記

東大 京阪 東大 社會資合式株書圖洋東 發兌

東京市神田區神保町一丁目 振替東京一〇三七番  
 大阪市南區安内寺町一丁目 八番地 振替大阪三九五五番

# フレールベル祭の前後に

京都 平安女學院保育科

大塚 喜一

『兩親たる者は其兒童の助によつて自分の缺陷を補ふべきである』

この言葉はフレールベル先生原著ハウ女史譯「人の教育」第二章第四十二節(一三二頁)の始に記されたる言葉である。

この書物は小生が學生時代に數回繰返して讀んだがわかり難くて困つたものであつて、この言葉等は其當時も難解に苦しんだものゝ一つであつた。今日までも「父」としての體驗を有せざる身であるから、わからうとするのが無理かも知れぬが、しかし現在の教職に就いて自分の今日まで歩み來りし道を回顧する時、確にそう、だ、さうなつき得るのである。先日も講義中にフレールベル先生の事を語りつゝ、父母も教師も同じく教育者たる共通の「道」に沿ふてこの言葉を自分の身の上に移して生徒に感謝の心を披瀝したのであつた(ザルツマン原著村上氏記「教師と父母との再教育」参照)

この心境は、昨年五月號の本誌の卷頭の言にて「教育はお互である」なる文字が吾人の眼を射た時の所感として六月號三八頁に

「若き處女達と共に教育を學んで來た月日尙淺きにも拘らず、如何に自分が「教育される教育者」であるか、幸にして斯くあり得たいといふ自己は、ごくまれてゐる。社會に對する感恩の心である。云々」。

と述べたる所を前後の關係をよく御讀み下されば凡そわかつて頂ける事と思ふ。教師でさへ斯くあり得るなら、まして自分の子を有する親として殊に「お母さん」にしてこの感如何に深きものがあるであらうか。小生はかねてより敬慕してゐる「お母さん」にして「保姆さん」たる或る先生にこの言葉を申し上げたところ「あゝ、さうですか」感概深げな面持でゐられた。「先生はお母さんとしてこのフレールベル



先生のお言葉をどうお受入れになりますか。」

「お尋ねした。何事も思つたまゝ自ら感じたままにすなほに云ひ表はされる先生も、この時は靜に考へ込んでゐられたらしくすぐにはお答にならなかつた。(註、昨年六月號「ある保母さん」の話」參照)

今年のフレーベル祭も近づいて記念の集りをしやうと相談してゐた時、小生は又この言葉を持出して先生の御體験に立脚しての御教示を乞ふた。先生は「それはI先生にお尋ねなさい。あの先生は五人の子供さんのお父さんなのだから」云はれて、話題を轉じて小生に一冊のバンフレットを示された。それは東京の渾沌社發行の「渾沌」第十二卷第十一號「フレーベル夫人號」であつた。「フレーベル先生」のあの御生涯に於てこの夫人が如何に大切な働きをしてゐられるかがよくわかります」にて一讀をすゝめられたので、借りて歸つて讀んだ。フレーベル祭までに讀み終りたかつたが所用多くして果さず、當日の集りを終つて歸つたのはたそがれ時であつた。夕食後その日の會の印象を記し本誌を通じて讀者諸氏ミ俱にフレーベル先生を偲ぶよすが

にもミ、その參考を既刊の「幼児の教育」各號の中より探索する中、色々つながりのある興味多き記事が目こまり、あれもこれもミ引出した。その中にて此際特記したきは第三十二卷第四號 フレーベル誕生百五十年

企圖(フレーベル)

である。

此稿は、その夜から思ひを起して書き始めたものである。

\*

「フレーベル夫人號」を讀んで特に茲に諸賢ミ俱に深く考ふべきは次の言である。

「ウイルヘルミチの精神生活に於ける更に重大なる問題は、彼女がフレーベルミ相知る以前に於て、不幸なる結婚の苦しみを嘗めたと言ふ事情である……。春雨一度去つて、野花忽ち開く。不幸なる結婚の苦惱を通して、ウイルヘルミチの女性としての本質は完成せられたのであつた。女性としての自覺、女性の本質の完成、それは同時に母性としての自覺でなければならぬ。勿論彼女は一子をも産まなかつたのであるが、一子をも産まざりし彼

女が、幼き兒童の慈母となり得たのは、かゝる自覺によるもの言はなくてはならない。生後九ヶ月にして母を亡ひ、未だ曾て慈母の愛に接したことの無いフレーベルが、世にも稀に見る程に、母の子に對する愛の重大性を説いたのは、自己の求めて得られざりしものを、尙求めて止まざる思慕の念の表はれであるが、彼は之を自己よりも二歳年長のウイルヘルミチ夫人に見出すことが出来たのである、苦しみを通して彼女が女性としての自覺に入つた事は、フレーベルと求婚時代に交換した手紙によくあらはれてゐる。「私達婦人は苦惱と否定を通して形成せられ、男子は行爲と行動を通して形成せられます」。又私は最も高きものを信じます、神様の不思議な加護を信じます、私は此の信仰のみに幾千の苦惱に今迄堪えて來たのです。」

『フレーベル教育學の對象は人間の教育であつた。人間の教育は其の萌芽たる幼兒の教育が最も大切である。而して幼兒の教育は母性、或は一般に女性の微妙なる心情

によらなくては不可能である。其の理由はフレーベルによれば幼兒の生活は女性の心情を外にしては存在し得ない、又女性の心情は幼兒への愛を抜きにしては存在し得ない。畢竟、幼兒の生命と女性の心情は言葉の上では二つであつても其の本質に於ては一つのものである。フレーベル教育學に占むる女性のかゝる位置、それは實にフレーベル生涯の教育活動に占むるウイルヘルミチ夫人の位置の縮圖に他ならぬではないか。かく見來るまきウイルヘルミチ夫人はフレーベルの協力者であると同時に、其の精神上の母である。云々。』

この稿の最初に引用せる言葉はこの文を相對照して讀む時、吾人はフレーベルに於ては、肉體上の親であるか否かよりも「精神上の母たること」が幼兒の生命を保育する上に更に根本的に云へば人間教育の大業に參する上に最も大切なるはたらきを爲すものと解せられる。而して「幼兒の生命と女性の心情はその本質に於ては「一である」このフレーベルの信念を以てすれば、この本質を保育し生成せしむる事により、すべての女性は精神的に更に切言すれば人

(以下六一頁へ)

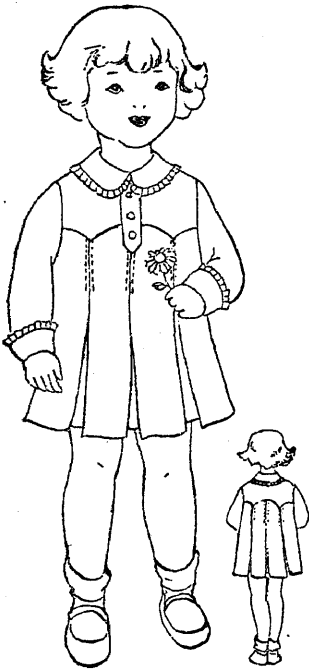
# 幼児の服装について (5)

東京女子高等師範學校教授

成 田 順

四月號にはロンパースについて記したが本號には袖のついて居るドレスについて申ませう。前にも申しましたやうに幼児の服としてはあまり複雑な型を選ばず、なるべく簡單で裁縫も手輕になし得るもの、且つ汚し易いから度々の洗濯仕上げにあまり手間のかゝらない簡單に處理し得る型でありたいのです。

(1)ヨーク附て襷のあるもの 出来上り圖



[1] 型紙の裁方

○身頃

五歳用假定寸法  
身長 九八センチ  
胸圍 五一センチ

1、丈 五〇センチ・

2、ゆるみ 四センチ

3、衿ぐり 前 横は胸圍の $\frac{1}{10}$

縦は胸圍の $\frac{1}{10}$ より一・五センチ下  
げます。

後 横は前と同様 縦は一・二センチ  
ります。

4、裾幅 胸圍の $\frac{1}{4}$ の一・八倍

5、接目の位置 胸圍の線を中心に定める。

6、襷の幅 凡そ六センチ

7、裳の深さ二・五センチ乃至三センチ

○袖

1、丈 三〇センチ

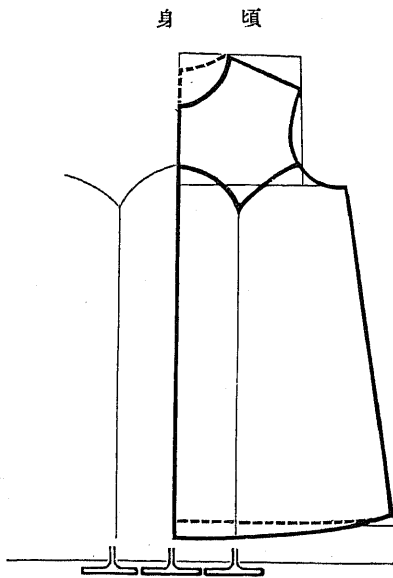
2、山の高さ 袖ぐりの五分の一

3、袖口 二〇センチ

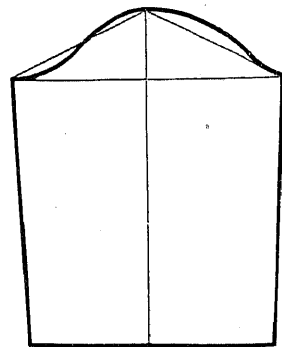
○カフス

1、丈 一五センチ

2、幅 四センチ



袖



○衿

1、肩の重り 二センチ

2、衿幅 五センチ

〔2〕用布の種

類トブラル

コ・ギンガ

ム・ポブリ

ン・富士絹・

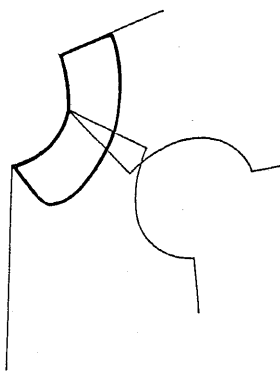
薄手の毛織

物等。日本

のやうに濕

氣の多い國

衿



〔3〕布の裁方

殊に梅雨時にはモスリンの類がよいと思ひます。

冬物ならばヨークミ袖ミ袖口及び衿には裏をつけま  
す。富士絹を用ひる時には衿ミ袖口のみに裏をつけま

す。下の布の幅は襞の数に深さを計算して裁ちます。裾の折返しは凡そ七センチとし、他は一センチ乃至一・五センチの縫代を入れて裁ちます。

## 〔4〕 仕立方

## 1、肩合せ

肩を袋縫にします。裏附ならば前後の肩を表裏別に合せて縫ひ割りてこてをかけます。

## 2、前明の始末

裏に細く三つ折にしてミシンをかけます。裏附の時は左右の前中心を表裏合せて縫ひます。

## 3、裾の始末

4、襞取  
脇縫をなし圖のやうに下の布の襞を取り、アイロ  
ンで押へ、飾りミシンをかけます。

## 5、胴接

ヨークだけの明では頭が入らぬから、下布の前の中央をあけて、簡單に三つ折にして始末しておきます。次にヨークを下布の上のせ、くけつけて

もミシンをかけてもよろしい。

## 6、袖及び袖附

袖下を縫ひ裏附ならば表裏の縫目をこぢ合せ(裏の袖丈は表より少し長目に裁ち裏袖をゆるませてこぢ合す。)袖口を縮めておきます。次に袖口布の表裏にて飾布を挟んで縫ひ、袖口を輪に作り袖につけます。

袖附は前號ロンバースの所でも記したやうに山のあたりは袖を稍々ゆるめに下の方は袖がゆるまないやうに注意してつけ、縫代は二枚一緒にかつておきます。斜布で縫代を包む人もありますがたくなつて却つてよくないと思ひます。

裏附の時は身頃の表裏を一枚見なして表袖をつけ、裏袖を折つてくけつきます。此時裏袖は丈に於てゆるみかげんにします。

## 7、前の當布附

當布を形よく作り右及び下の方をくけつきます。

## 8、衿及び衿附

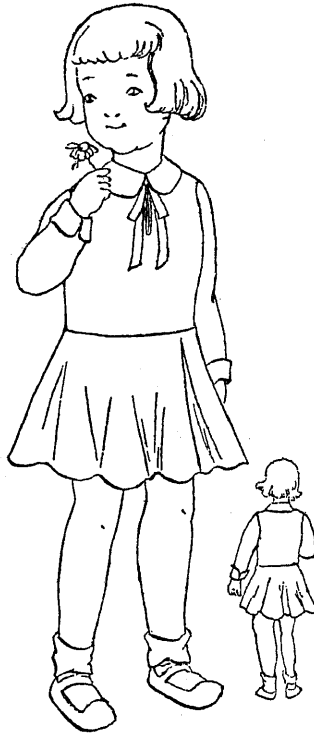
衿の表裏で飾布を挟んで縫ひ、縫代を細く裁切

り、表に返し身頃ミ斜布ミで挟んで縫ひ斜布の端を折つてまつりつけます。

9、仕上げ

10、飾釦及びスナップ附

(2)くりぬきスカート附のもの 出来上り圖



〔1〕 型紙の裁方

胸

1、丈 二八センチ

2、ゆるみ 四センチ

3、衿ぐり 前横は胸圍の  $\frac{1}{10}$  縦は胸圍の  $\frac{1}{10}$

より一・五センチ下げます。

後 横は前ミ同様 縦は一・二センチ下げます。

チ下げます。

4、脇の線 真直

スカート

1、丈 二四センチ

2、幅 布の都合で裾の幅は上の幅の

一・五倍乃至二倍にひろげます。ス

これはくりぬきのスカートをつけた可愛らしいおもしろい型であります。襷のやうにくづれる心配はないが布が柔かで重みがないミ感じのよい線は出ません。

六歳用假定寸法

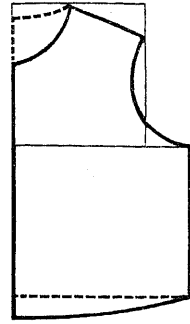
身長 一〇四センチ

胸圍 五三センチ

カーットの丈ミ上の幅ミの長方形を取り之を數等分し次圖のやうにひろげます。斜線の部は廣げた幅です。

袖・衿は何れも前のミ同様に裁ちます(第四六頁參照)

胸



[2] 用布の種

類クレップ

デシン・ジョ

ーゼット・ス

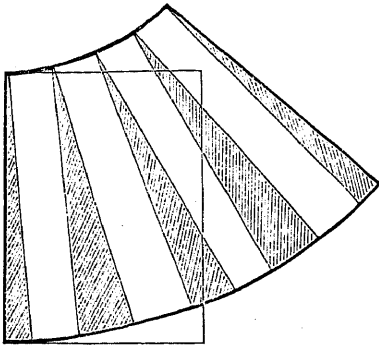
パンシル

ク・富士絹・ボイル等。毛織物ならば薄くて柔かいものがよらしい。

[3] 布の裁方

何處も一センチの縫代をいれて裁ちます。スカート

スカート



の布は前の中心を斜で取るか、脇を斜で取るか、何れにしても左右等しい布目を使ふことが大切であります。斜の所は布目の真直な所よ

り幾分伸び加減になり線も多く出ます。冬物ならばスカートを除く外裏をつけます。

[4] 仕立方

1、前明の始末

頭の入るだけに前をあげ斜布で縁を取ります。

2、肩合せ

地が厚ければ割つておきます。

3、脇縫

肩合せと同様に始末します。

4、スカート

スカートの脇を縫合せ裾は細く三つ折にするか縁取りにします。折代が多いミ裾の線が美しく出来かねます。

5、胸接

スカートの上がのびないやうに注意して胸接をします。裏附のものならば表のみつけて裏は端を折つてまつりつけておきます。單の時は裁目を一緒にかがつておきます。

6、袖及び袖附

袖下を縫ひ裏附ならば表裏の縫目をごち合せ、袖口を縮めます。次に袖口布を作り袖につけます。袖附の注意は前と同じです。

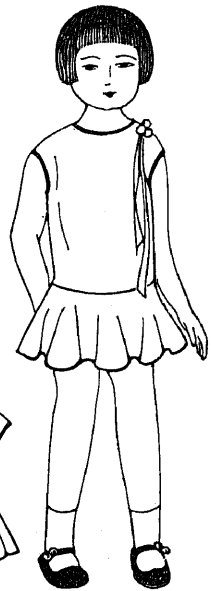
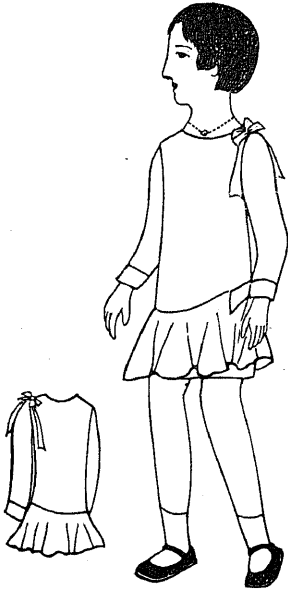
7、衿及び衿附

衿の表裏を合せて縫ひ、縫代を細く表切り表に返し身頃ミ斜布ミで挟んで縫ひ斜布の端を折つてまつりつけます。

8、仕上げ

(3) ノースリーブドレス(二種)

9、鉤ホック附(右身頃に鉤左身頃に輪)



前明の上に鉤ホックをつけます。

10、リボン附

この服は何れも袖の部分がなく、くりぬきのスカートがついてをります。幼児用として胸が長くスカートが短いのは可愛らしいものです。くりぬきのスカートにはなるべく柔くてしつみりミした重みのある地質がよろしい。

五歳用假定寸法

身長 九八センチ  
胸圍 五一センチ

[1] 型紙の裁方

A型

身頃



1、丈 五〇センチ 2、裾 一三センチ

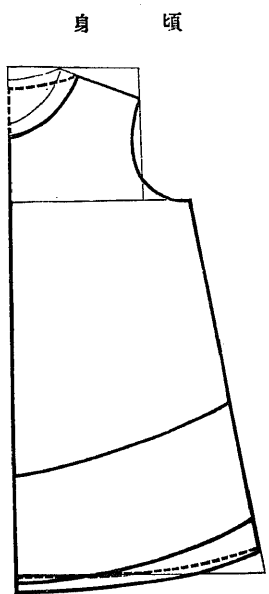
3、ゆるみ 四センチ 4、衿ぐり 前は胸圍の  $\frac{1}{10}$

り横に一・五センチ、縦に一センチ多くあけます。

5、裾幅 胸圍 4の一・八倍

6、飾布 これは(2)のスカートと同様に飾布になる

型紙を數等分し次の圖のやうに開いて更に型紙を作ります。斜線の方は随意に取れますから、割合に簡單で都合のよい裁方であります。



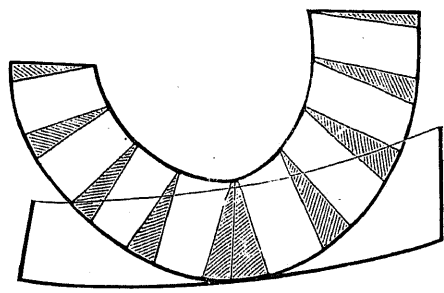
B型

胸

1、丈 五〇センチ 上三四センチ 下一六センチ

2、衿 一七センチ 3、ゆるみ 四センチ

裾飾布の開き方



五〇

4、衿ぐり 前は胸圍の  $\frac{1}{10}$  より

横に一・五センチ

縦に一センチ

多くあけます。

5、脇の線 眞直か

或は下で一センチ

程度狭くします。

スカート

スカート

胸の裾をABとし

カートのABは胸の裾と同様の長さにする爲CAを半

徑とし圓の  $\frac{1}{4}$  の弧をかきます。

即ちCAの長さは  $\frac{AB \times 4}{3.1416} + 2$  になります。

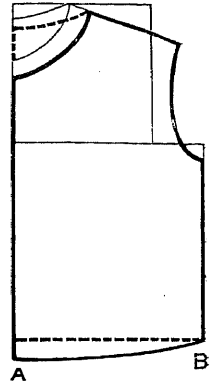
ADはスカートの丈です。くりぬきのスカートは圓の

全體を用ひる時其の半分を用ひる時或は其間を用ひる

時等色色ありますが、之は布地によりスタイルによつ

て考へねばなりません。

胴



[2] 用布の

種類

富士絹・

スパンシ

ルク・ジヨ

ーゼット・

クレップデ

シン・ボイ

ル・トブラ

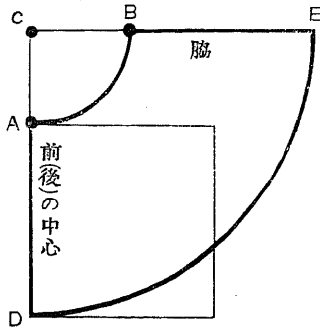
ルコ等

[3] 布の裁方

縁取りにす

る所は裁目

スカート



其儘にしA型の裾は折代にして五センチ其他は一セ

ンチ宛入れて布を裁ちます。

[4] 仕立方

1、肩明の始末

後に持出し前に見返しをつけます。

2、脇の袋縫

3、衿ぐり袖ぐりの始末

何れも斜布で縁を分ります。

4、裾の始末

B型の裾は縁取りに致します。

A型の方は折代を折つてミシンをかけるかくけつ

けておきます。飾布の裾は出来るだけ細く三つ折

にしてつけておきます。又ピコミシンをかけて軽

く仕上げてもよいと思ひます。

5、A型の飾り布附 B型の胴接

A型は飾り布を適當の位置におき中から手縫ひに

しても或はミシンをかけてもよいと思ひます。

B型は胴接ぎをして縫代は斜布で包んでおくか、

其ままでほつれないやうにかがつておきます。

6、飾りは共布でこしらへてもリボンをつけてもよろ

しいと思ひます。

注意

くりぬきのものはなれない間はどんな線が出るかはつきりわかりませんから一度新モスの類で試してから實物をするのがよからうと思ひます。

ちやちや話はなし

高 島 巖

夏がだんだん近づいて、真白な入道雲が、ちよくちよくお顔を出す頃になりました。

正雄君が、朝早く起きて、お庭の隅つこに咲いてゐる朝顔に水をやつてゐますよ、お父さんが、お呼びになりました。

「ちよッ、ちよッ、ちよッ、正雄や」

「はい、お父さん。お早ようございませす」

「ああ、お早よう。今日は随分早起きだね。なにかあるのかい？」

「いいえ、なんにもないんですが、僕、今日、朝顔アサガハを早起きの競争をしたんです」

「えッ、朝顔アサガハを早起きの競争？」

「ええ、ところが、負けちやつたんです」

「なに？ 負けた？」

「ええ、朝顔アサガハつて随分早く目を覚ますもんですね。僕、今日五時に起きたんですが、大急ぎでここへ来て見るよ、もうちやあんま目を覺まして、にこにこ笑つてゐるんですよ。そして、僕に、水を飲ませて呉れつて云ふんです」

「さうか。お前もなかなか面白い事を考へつく子供だね。さうか。お前もなかなか面白い事があるんだが、さうだ、今日、お父さんと一緒に、お魚を釣りに行かないかい？」

「お魚を釣りにですか」

「さうだ。そしてひみつ、今晚は、お父さんとお前まで釣つたお魚で、お母さんやおぢいさんおばあさんを、よこはせてあげよう」

「うむ、それはいい考へだ。僕、直ぐお支度をして來ます」  
「朝ご飯のお仕度が出來てゐるか。聞いて來て下さいよ」

\*

正雄君は、大急ぎで、お家のなかへかけ込みました。

「お母さん、お母さん、お母さん」

「なんです、朝からそんな大きな聲を出して」

「ううん、あのね、連れてつていただくの」

「連れてつていただくつて、何處へ、あなたに？」

「お父さんに、そしてね……あのう、あのう……お母

さん、お母さん、お母さん、今晚はおかづを買はないで下

さすよ」

「どうして？」

「お魚を釣りに行くの」

「まあ、家中で食べるお魚を、お父さんにお前まで釣つ

て來るつて云ふの？」

「うむ、さう」

\*

正雄君は、お支度をして、おそこへ出て來ました。

「お父さん、お父さん、お父さん」

「なんだい、大きな聲を出して、もう朝ごはんのお支度、出來たかい？」

「ああ、さうか。聞いて來なかつた。でも、出來てゐれば、たしかに出來てゐるでせう」

「あたりまへぢやないか、出來てゐれば出來てゐるのは、もう一ペン聞いて來なさい」

正雄君は、もう、うれしくてうれしくて夢中です。

朝ごはんが済むと、早速、正雄君は、釣道具をもつて、

お父さんと一緒にお家を出ました。

\*

正雄君たちのやつて來ましたところは、ある大きな川の  
ふちの樹の下でした。

川向ふは、険しい崖になつてゐて、その上に細い道がついて  
ゐますが、道の向ふ側は、又、崖になつてゐて、それが何處  
までも何處までも續いて、高い高いお山になつてゐます。

お山には、眞青な樹が一面に生えてゐて、それにお陽さ  
まが映つて、綺麗な綺麗な綠色に光つてゐます。

静かです。

\*

川向ふのお山から、蟬の聲が、ジイーつミ聞えて來ます。正雄君とお父さんは、一生懸命にうきを見つめてゐます。するさ、正雄君のうきの丁度上のところに、なんだかもやもやつミしたものが映りました。

「おやおや、なんだらう」

ミ思つて見てゐますさ、そのもやもやしたものが、向ふの方へもやもや、こつちの方へもやもや、こ動いて、やがて、正雄君が毎日毎日見てゐるお母さんのお顔に變りました。

「ああ、變だぞ。お母さんのお顔だ。……あ、あ、あ、あ、お母さんが笑つたよ」

ミ思つてゐるうちに、こんどは、そのもやもやが、おぢいさんのお顔に變りました。そしておばあさんのお顔に、

「お父さん、お父さん、お父さん」

「なんだい？」

「變ですよ。僕のうきの丁度上のところに、お母さんやおぢいさんやおばあさんがゐるんですよ」

「馬鹿な、そんな譯がないぢやないか」

「でも、見てごらんさい、ほら」

お父さんがごらんになるさ、それは、入道雲が川の水に映つて、色々の形に變つて行く、その形が、お母さんのお顔に見えたり、おぢいさんのお顔に見えたり、おばあさんのお顔に見えたりするのでした。

\*

「ほら、正雄。引ひてるぢやないか」

「あ、ほんごうだ」

正雄君が、ひよいつさ、竿をあげますさ、

「なあんだ。餌をこられちやつた」

「ぼんやりしてゐるからさ」

「こんどこそ釣りますよ。お父さん、見てゐて下さいよ」

正雄君は、竿を下してうきを見つめました。

ところが、又、もやもやがやつて來ました。

「あつ、朝顔だ。随分よく咲いてゐるなあ。うむ、今朝僕ミ早起きの競争をして僕を負かしたのは、あの朝顔だ。

よし、あしたはきつミ僕が勝つよ。うむ、よしよし、水が

飲みたいのか、今飲ましてやるよ。なんだい、そんなに  
はて、しやうがないぢやないか」

「おい、正雄。しやうがないのはお前だよ。ほら、引ひて  
るぢやないか」

見るミ、正雄君のうきが、ビクビク引かれてるます。

「ようし、今度こそ釣るぞ。お父さん、見てるて下さいよ」  
竿をあげますミ、

「なあんだ、又、餌をさられちやつた」

「しやうがないね、お父さんなんか、もうこんなに釣つ  
たよ。しつかりしなくちや駄目ぢやないか、今晚のおかづ  
が出来ないよ」

「え、大丈夫です。こんごこそ釣りますよ、釣ります  
ごも」

正雄君は、又、竿を下して、うきを見つめました。

ところが、又、もやもやがやつて来ました。

「あッ、こんごは、お母さんもおぢいさんもおばあさん  
と一緒に。おやおや、お膳の上には、お茶碗とお皿とお箸  
だけ。あ、さうか、僕がおかづを買はないやうに云つて置

いたからだな。おやおやおや、お父さんだぞ、あ、僕も  
ゐらあ。あ、お魚をもつてるぞ。随分たくさんあるなあ。  
でも、僕のは一疋もゐないや。おや、もう煮えたのかし  
ら。みんな食べたぞ。おいしさうだなあ」

「おい、正雄。なにをさつきから獨り言を云つてるん  
だい。うきが動いてるぢやないか」

見るミ、正雄君のうきが、ぐいぐい引つばられてるます。

「ようし、こんごこそ釣らなくちやあ、ひよいッ」

正雄君の餌は、又、さられてりました。

「しやうのない正雄だなあ、一疋も釣れないぢやないか。  
さあ、ぼつぼつ歸らう、だんだん暮れて来たから」

\*

川向ふのお山の縁が、すつかりぼやけて、乳色にくもつ  
て来ました。崖ぶちのお道ももうはつきりは見えません。

正雄君とお父さんは、お家へ歸りました。

その日のお夕飯は、おかづは、お父さんのお釣りになつ  
たお魚で、お話は正雄君のもやもや話。

お母さんもおぢいさんもおばあさんも、大笑ひでした。

# 人形花子さん (三)

及川ふみ

花子さんの着物も、これからだんくミ暑さに向ひますからお洋服にいたします。

## セーラー

襟(一本のラインをのこして)袖口、ポケット、の上部、スカート、等は青色をぬります。ネクタイは赤にいたします。別圖を白の畫用紙に謄寫して前述の様に各部をぬつてもよろしう御座いますが、水色のラシャ紙なごに謄寫してぬりますミ一層きれいなお洋服が出来ます。

## ロンパス

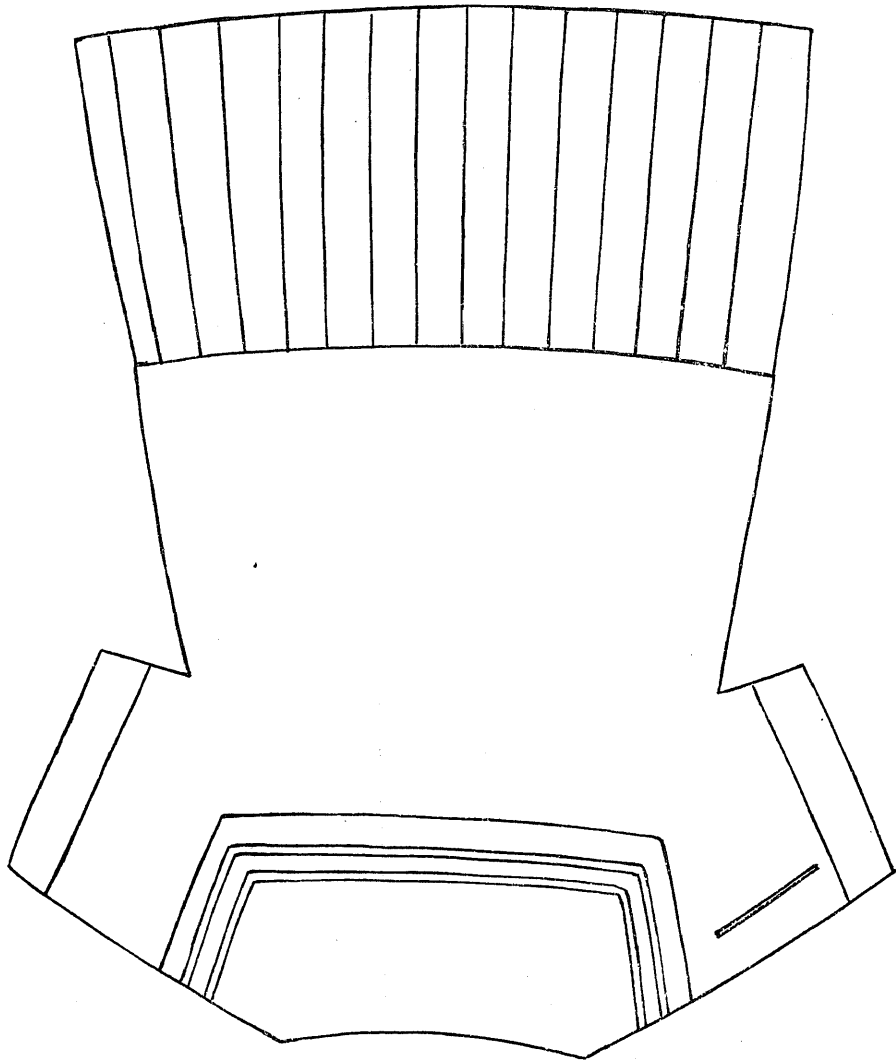
襟、(レースの部分も)袖口、を赤か水色なごでぬります。バンドは任意の色にいたします上部だけミか、下部だけミか色をミりかへてぬるのもよろしう御座いませうし、又上部だけ花なごの小さい飛模様を畫かくのも可愛らしいお洋服をつくる事が出来ます。

これもセーラーミ同様に白い普通の畫用紙で作るのもよろしう御座いますが、又ミき色だのカバ色のうすいラシャ紙に謄寫いたしてもよろしう御座います。

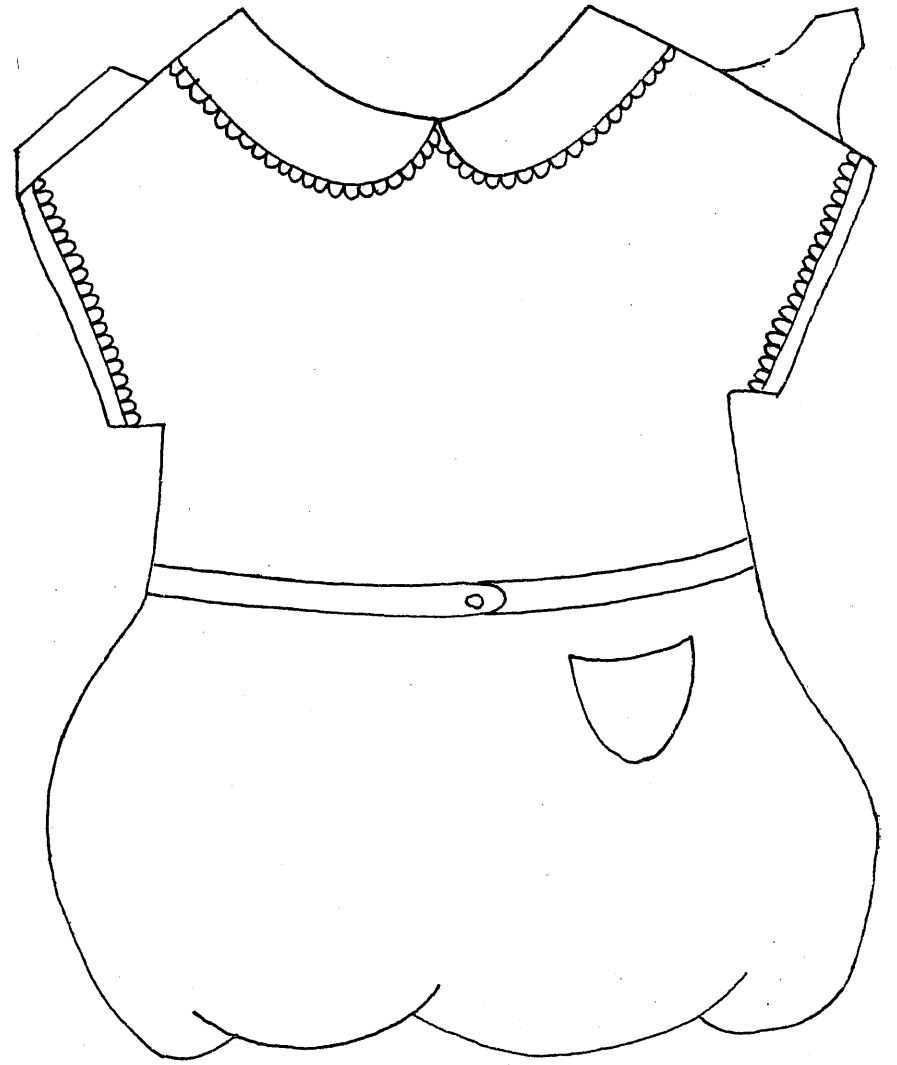
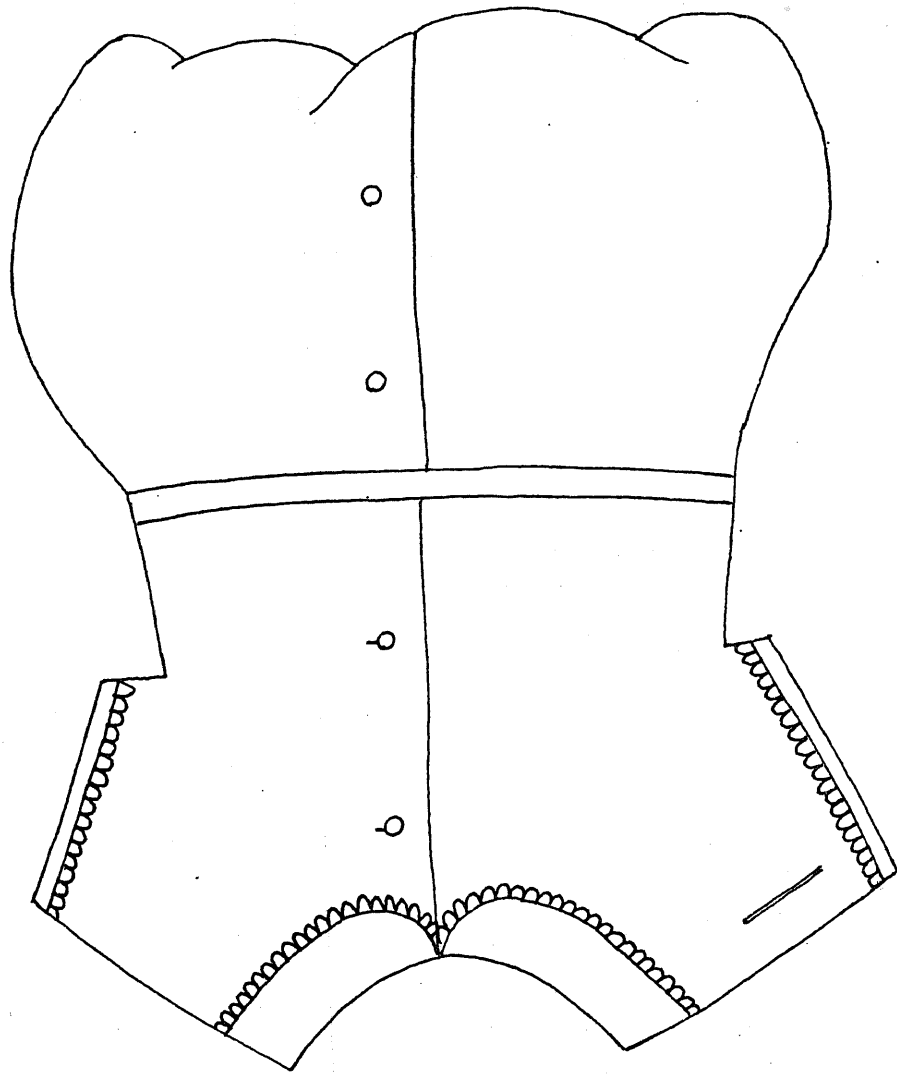
## エプロン

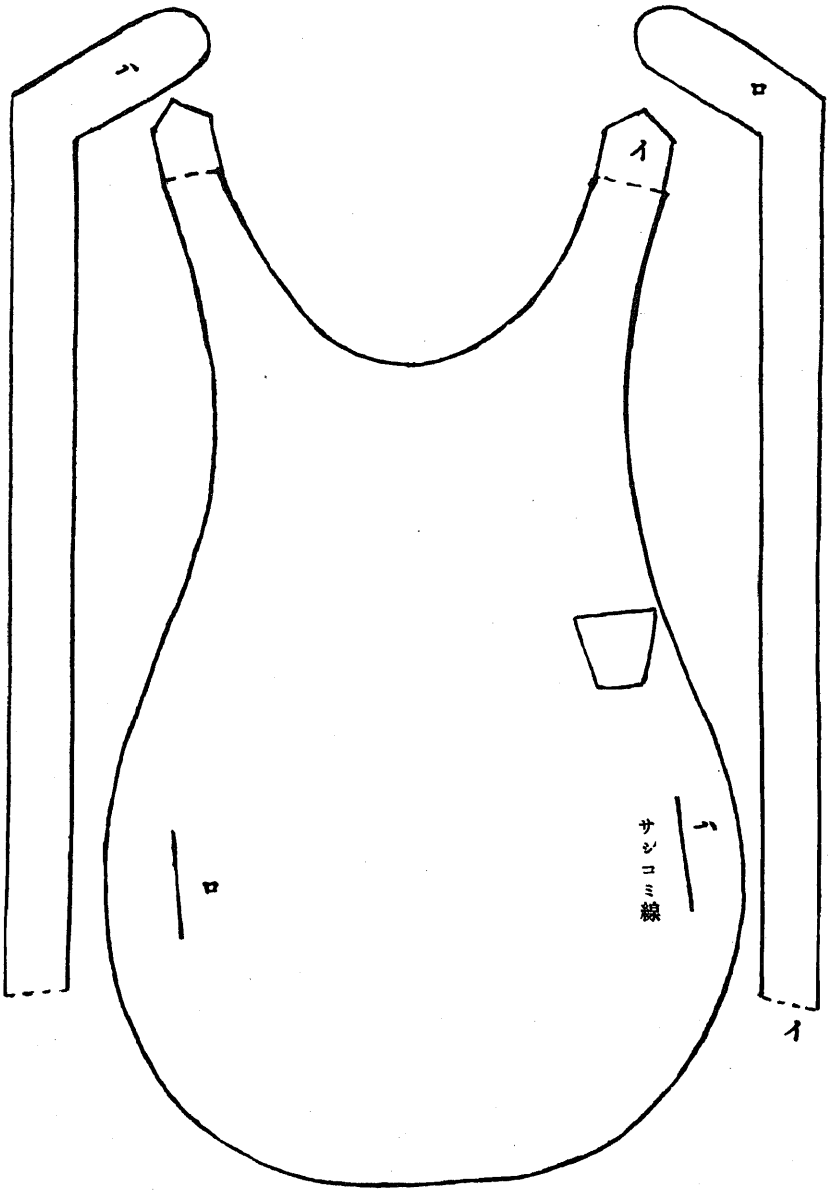
エプロンも洋服ミ同様に適當な色にぬつたり、模様をつけたり致します。別圖エプロンの上部の點線ミ紐の點線をつなげて長い紐ミ致しまして洋服の後で交又させてエプロンの前でさしこむ様にいたします。

洋服、エプロンミもに色や模様はなるべく幼児自身に工夫させてぬらせませうし、同一材料を使つても各人各様にいろいろのものが出来て面白いミ思ひます。









# 花咲爺さん

附屬幼稚園 小 園

幼稚園で致して居りますあのお遊戯を、こんな風にして

みたら、あの子供達の一人々々に本當によろこばれるものが出来るのではないかと、或時ふと思ひつきまして、あの古くからよく知られて居ります花咲爺のお唱歌に、お遊戯さいふ程でもない一寸したものを考へてみましたところ、

大さうごの子供にもよろこばれるものが出来ました。あの子供達は、一人は象に、一人は犬になる、さいふ様にして、それ／＼異つた個々の動作をなす事を、大さうよろこぶ様で御座います。この花咲爺さんも、犬になる人、白になる人、さいふ様に役を定められる事を非常によろこびました。その上にも一ツ、一人づ／＼にお面を作らせて、それをつけましたところ、私は大判だ。私はお花だ、さいふ事がなを一層はつきり意識されて参りまして大よろこびでした。このお面をつけてお遊戯をするさいふ事は大さうご

の子供にもよろこばれた事で御座います。

お面は、顔のかくれぬ程度に、顔の上の方につける様にして、紙は白のボール紙或は畫用紙の厚いものを用ひ、それ／＼自分でかゝせました。こめるには幅のやゝ廣いゴムひもを用ひました。お爺さん二ツ、白一ツ、犬一ツ、大判、小判、櫻の花、瓦、瀬戸かけ等は夫々必要の數だけ作ります。

人數は、組全體の子供が一しよに出来るので御座います。爺さん二人、犬、白、の他は全部を二ツのグループに分けて、一方を瓦瀬戸かけの組、一方を大判小判櫻の花の組、と致します。

## 1、瓦瀬戸かけの組

人數は八人以上十人位まで、一重の圓形にしておきます、これはあまり目立たない様な氣がするの、子供

も羨まりこの組になる事を好みませんので、さかく平常は目立ち過ぎてゐる、女兒がこの役には適當かま存じます。

2、大判小判櫻の花の組

十五六人以上を適當に致しますが、人数の都合でこのグループは何人でも、たゞ二重の圓形の作れる程度でしたら出來ます、櫻の花を適當の場所に點々こ入れておき、内側と外側の人数の差を程よくして二重圓を作つておきます。

3、爺(1)、爺(2)、犬、白、

これは夫々一人づゝ役をきめて、圖の様な場所に並んで居ります。

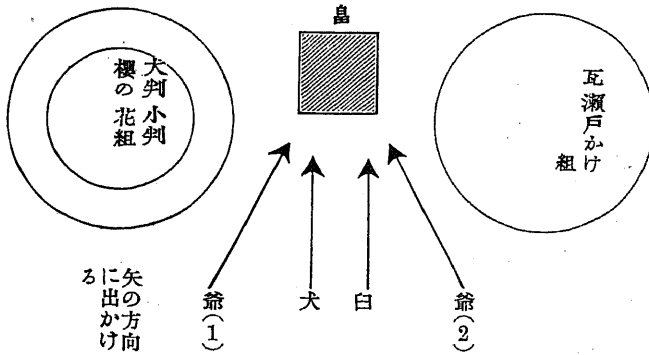
次に動作の一つ一つについて申述べます。

一、

○裏のはたけでボチがなく、

犬、裏のはたけで、——スキップにて圖の矢の方向に鳥の邊まで出る、

ボチがなく、——右手にて鳥の所を指す、(軽く上下に手を振り乍ら)



○正直爺さん掘つたれば、

犬、爺(1)、

爺(1)右手にて杖を持ち、左手を後にまはし腰をまげて杖をつき乍ら、ゆつくりボチの後について歩き鳥の所でまゐる。

爺(2)及び白はその場に腰をおろしてゐる、

大判小判櫻の組、瓦瀬戸かけ組、その場にて、圓の中心に向つたまゝ皆手をつないで座つて

島の場所にて躑にて掘る様子を、

他の組は皆前と同じに座つてゐる。

○大判小判がざくざくざつくとく。

犬、爺(一)

大判小判が、までその場にて拍手(八つ)ざくざくざつくとくまででスキップにて前の場所に歸る、

大判小判櫻の花の組

二重圓を作り手をつなぎ中心に向つて座してゐるのを、

大判、——内側の圓揃つて手をつないだまゝ立ち、外

側はそのまゝ座つてゐる、

小判が、——外側の圓は手を取つたまゝにて立ち内側

は座る、

ざく、——内側が立ち、外側は座る、

ざく、——外側が立ち、内側が座る、

ざつくとく、——内側が立ち、外側が座る、

ざく、——外側が立ち、内側が座る、

右の様に互に固く手を握つたまゝ、す早く立つたり、

座つたりする、

瓦瀬戸かけ組、白、爺(二)は前と同じく座つてゐる。

二、

○いぢはる爺さんボチかりて、

爺(二) 前節の爺(一)と同じ様に杖をつき乍ら島の所に出る。

犬、爺さんの後についてゆつくりしたスキップにて島に

ゆく、

其他の組は皆前と同じに座つてゐる、

○裏の島をほつたれば、

犬、爺(二) 一しよに躑にて掘る様子を、他の組は

皆前と同じに座つてゐる。

○瓦や瀬戸かけがらがらから、

犬、爺(二) 前の場所に島から歸る。

瓦瀬戸かけ組、八人が圓の中心に向つて座つてゐるの

を、カ、ハ、ラ、ヤ、セ、ト、カ、ケ、ミ夫々一人が

一字づゝの割合にて、順々にす早く一人づゝ立つ、こ

れは八人以上になつた場合には適宜に二人一しよに立つ、そして全部立つ、

がらがらがら、——各々自分の周圍を手を打ち乍らまはる、

其他の組は前と同じくその場所にて座つてゐる。

## 三、

○正直がいさん白ほつて、

白、ぎしん／＼とゆつくり前に歩いて出る、

爺(一) 腰をまげ杖をつき乍ら白をつれて前に出る、

○それでもちをついたれば、

白、兩手にて體の前に大きく白の形を作る、

爺(一) 杵をふり上げ餅をつく様子をする、

其他の組は座つてゐる、

○又ぞろ小判がざくざくざくつく、

爺1、白、拍手八回の後スキップにて歸る、

大判小判櫻の花の組、第一節の動作と同じ内側と外側が交互に立つたり座つたりする。

其他は座つてゐる。

## 四、

○いちにはる爺さん白かりて、

爺2、白、前節の爺(一)と同じく白をつれて前に出る、

白はぎしん／＼と前に出る、

他はやはり座つてゐる、

○それでもちをついたれば

爺(2) 餅をつく、白は第三節の場合と同じく兩手にて

白の形を作る。

其他の組は座つてゐる。

○又ぞろ瓦がらがらがら、

瓦瀬戸かけ組、第二節の瓦や瀬戸かけがらがらがら

の場合と同じく、一人づゝ順々に立ち、がらがらがら

がらにて各々手を打ち乍ら自分の周圍をまはる、

爺2、白、スキップにて元の場所に歸る、

其他の組は座つてゐる、

## 五、

○正直爺さん灰まげば

爺(一) 腰をかゞめ二三歩前に出てから、櫻の花の組の

方に向いて、左手にかゝへたかごの中の灰を右手にて

まく様子を二三度する、

他の組は全部まだ座つてゐる、

○花が咲いたかれ枝に、

爺(一) まだ灰をまいてゐる、

大判小判櫻の花の組、このグループの中の櫻の花だけ一人或は二人位づゝ順々に立ち、他の大判小判は座つたまゝでゐる、

其他の組はまだ座つたまゝでゐる、

○ぼうびは澤山おくらに一ぱい、

爺(一)、爺(二)、白、犬、四人手をつなぎ元氣に右廻りに歩く、

大判小判櫻の花の組、これも皆立つて元氣に右廻りに歩く、

瓦瀬戸かけの組、これも他の組と同じく皆立つて元氣に

右廻りに歩く。

尙唱歌は第六節まで御座いますがこれを省き、第五節でこのお遊戯をめだたしめだたし致しました、

以上は皆で歌をうたひ乍ら致します、そして規則めいた事、例へば右足から出るさか、何歩歩くさかいふ様な事は全く考へずに、子供のなすがまゝに致しました。本當につまらないもので御座いますが、何かの御参考にもなれば幸ひ存じます。

(四三頁ヨリ)  
格的に人間の萌芽たる幼児の母たり得るの資質を體得する

に至るのではあるまいか。斯く考へ來つて始めの言葉に歸する時、母たる資質の中にてフレーベルが特に吾人に啓示する所は即ち『其兒童の助によつて自分の欠陥を補ふ』といふ態度であると思はれる。かの「子供から學べ」なる常套語はこゝに女性と幼児との本質的關係に立脚したる嚴肅深き意義を以て吾人に啓示せらるゝに至つたのである。

フレーベルのこの言葉に就て小生は更に小原先生の譯書(一〇三頁)及英譯書を参照したところ、多少その意味を異にするを見出したので、更に京都帝大の岩井先生にドイツ語の原書に就てお尋ねしたのである。そこでこの稿は一まづ此處にて打切り、次號に於て諸賢と俱に詳細に忠實にフレーベル先生の眞意の存する所を研究して行きたいと思ふ。斯かる研究は淺學なる小生一人の能ふ限りではないので、此方面に就てかねてより深甚なる關心を以て研究せられつゝある諸先覺の先生方より來月號の本誌に御高見を寄せられむことを切望する次第である。

(昭和九年四月二十六日車中にて第一稿摺筆大阪驛上り列車  
便投函)

大 岩 金

四、害虫駆除

五月六月の候は色々の害虫の最も多く繁殖する時期であります。以下にその主なる害虫の駆除法を簡単に申し述べませう。

1、蚜アブラムシ 虫

ほごんご周年又いつれの花弁、蔬菜、果樹にもつき易いものでありまして一年に何回もなく發生するものであります。すから是は見付け次第早く駆除剤を撒布しなければなりません。

除蟲菊石鹼合劑

水 二リットル

除蟲菊粉末 一〇——一五瓦

石鹼 一〇——一五瓦

製 法

先づ水を煮立たしておきこの中になるべくアルカリ分の少ない良質の石鹼(マルセル又はアルボース石鹼)の粉末になつたものか或は薄く削つたものを入れてよく溶かし充分に混ぜましたならば次に除蟲菊の粉末を入れ更に數回沸騰させて火から下します。是を瓶のやうなものに入れて蓋をして一晝夜そのままにしておきそれよりは随時使用出来ま

使用法

一般に蚜虫は新芽ミか葉の裏なきにつき易いものでありますから之が駆除を丁寧に致しますには筆の如きものを用ひていち／＼虫體にこの藥劑を附著させるか洗ひ落すかの方法をみるのでありますがこの場合にありましては多少の残渣はありまして差支へないのでありますからこのまゝ使用すればよいのであります。



次にかゝる丁寧な方法による事の出来ない場合には噴霧器を用ひて出来る丈充分に蟲體に液を撒布してやうなければなりませんがこの時には豫め布で藥劑をこして殘渣を取り除いておきません直ちに噴霧口を塞ぎます。この外の注意を致しましては晴天の日を選んで撒布すべきであります。

又この液は永く保存に堪へますのでその點も便利であります。

デリス石鹼液

水

一・八リットル

デリス石鹼

七・五——三〇瓦

デリス石鹼はデリスといふ植物根から取つたデリスの有効成分を粉末石鹼に配合したものでありまして園藝用の藥劑を販賣してゐる店にはどこにもありません。

## 製法

極めて簡單でありまして一定量の水の中にこのデリス石鹼を入れ約二十分程棒の如きもので充分に溶解して泡立ちます迄攪拌致します。

## 使用法

充分に溶解しましたものを除蟲菊石鹼液使用の時と同方法にてよろしいのであります。唯使用中にも時々交ぜます事が必要であります。又是は使用の都度調製し永く保存しない方が効力を失はなくてよいのであります。

藥劑を撒布しました後直ちには蟲は死んだやうには見えませんが數時間の後には黒くなつて死にその場に附いてゐるのであります。

この外販賣品にはチオトン、エキスルオール、リクイドインヤクチサイド、硫酸ニコチンなぎが有りますがいろいろも蚜蟲の驅除劑として用ひられるのでありますがその稀釋法なぎも夫々に容器に記載されてありますからこゝには省略しておきます。

## 2. 根切蟲

この蟲は年二回即ち五、六月頃と九月に發生しまして冬には幼蟲の状態で土中で越冬するのであります。

體長には種々ありますが十分生育しましたものは三厘位にもなりまして色は全體黒褐色で脊に黒點があり始めは青

くて尺取蟲のやうに運動して居りますが後に漸次黒くなつて土中に入るのであります。

### 驅除法

植付してあります苗を見廻ります時に他の苗よりも一際目立つて威勢のわるい時とか地に植はりながら枯れたやうに見えます場合にはその根際を少し掘りおこして見ますならば大抵の場合こゝに根切蟲が潜在してゐるのであります。それ故これが驅除法として最も確實で簡單であります。それは捕殺によるのであります。極めて小さい時にのみ地上にあつて葉や芽をあらし多くの時に地に入つて居るこの根切蟲にはあまり藥劑を用ひても効が少ないのであります。又冬期の驅除法をしましてなるべく深く耕して寒氣にさらして死滅させるのも一方法であります。

### 3、夜盜蟲

冬の間蛹で越したこの夜盜蟲は四月下旬から五月の上旬にかけて蛾となり葉裏に産卵し六月の中旬頃までには既に幼蟲となるのであります。かくて葉裏から食害し始め終には葉脈丈を残して全部食べ盡してゆくののであります。そし

て極く小さい時には晝夜共葉裏に居て葉を食べて居ります。大きくなるに及び晝間は地中に隠れて夜間又は曇天に地上に出てあらすのであります。それ故この名を得たといはれて居ります。

### 驅除法

曇天又は夕方になりまして畑に出て地上にあらはれられた所を捕殺するのも一方法であり又晝間にありましては既に食害されかけて居る株又は附近の株の廻りを掘りおこしてこの中にかくれて居るのを捕殺するのも一方法であります。

藥劑を使用致します場合には砒酸鉛を用ひるのであります。

水

一〇〇リットル

砒酸鉛(粉状のもの)

〇・五——一封度

是にカセイン石灰を砒酸鉛の三分の一乃至六分の一を入れます時は粘著力を増し葉害を防ぎますので一層効果を著しくするのであります。

砒酸鉛には粉狀の外糊狀のもありましてこの場合には粉

狀の二倍量を使用するのであります。

### 製法

砒酸鉛を袋に入れ水中で練りながら揉み出します。

カゼイン石灰使用の場合には豫めカゼイン石灰を水にこかしておき之の中に前同様の方法で揉み出せばよいのであります。

### 使用法

降雨の心配のない日を見て噴霧器で食害されさうな部分に全部撒布しておきますればやがて之を食し二三日経つ中には死ぬるのであります。

撒布の際注意します事は度々液を攪拌致しまして沈澱させないやうにする事であります。

又使用の時期をしましては産卵しましたものゝ大部分が孵化した頃一回こ、それから凡そ十日間おきに三回位續けてやりますれば大方の夜盗蟲を驅除する事が出来ます。

その外地を耕して居りますれば根切蟲に似た金龜蟲の幼蟲も居ります。是も見付け次第捕殺しなければなりません。

又葉櫻になり樗、樫なぎの若葉も次第に茂つて参ります。是を侵す毛蟲の類も早く見付けて巢の中からはひ出て擴がらない中に焼却する事も忘れてはならないのであります。

## 日本幼稚園史成る

倉橋、新庄兩氏の共著「日本幼稚園史」は愈々五月十八日發賣せられることになりました。待望の此の書も今度こそ皆様の机邊に迎へられることを喜びます。

# 童話 幸福の王子様 (つゞき)

—— オスカア、ワイルド作 ——

東京女子高等師範學校教授

津 田 芳 雄

「所がエヂプトの方で私を待つてゐるんです。明日は私の友達は第二の瀧の所へ飛んで参りませう。其處には葦の間に河馬が屈んでゐて、大きな御影石の王座の上にはメムノンの神様が座つて居られるのです。メムノンの神様さいふのは夜通し星を眺めていらつして、朝の星が光り出すさいふの叫び聲を出して、それから黙つておしまひになるのですよ。お午には黄色い獅子が水ぎはに水を飲みに下りて参ります。獅子は緑柱玉のやうに緑色をした眼を持つてゐて、吼える時には瀧よりも大きい聲を出すのですよ。」

と燕は申しました。

それでも王子様はかう仰有いました。「燕や、燕、小さい燕、市街のすつみ向ふの方に屋根裏部屋にゐる一人の青年が見えるんだよ。その人は書き物の一杯載つかつた机に

よりかゝつてゐて、傍の水呑には一束の莖が凋びてゐる。

髪の毛は蔦色で縮れて居り、脣は石榴のやうに赤くて、眼は大きい、夢を見てゐるやうな眼をしてゐる。その青年が今、劇場の監督に約束した劇を書き上げようとしてゐるが、もうさても寒くて書けなくなつてゐる。爐には火がなくなつたし、お中は空いて倒れさうになつてゐるんだよ」

「それではもう一晩泊めて戴きませう。その人にもう一つの紅玉を持つて参りませうか。」と燕は申しました。實は燕も心はやさしいのでした。

「あー、所が紅玉はもう無いんだよ。残つたのは眼だけになつた。この眼は極上の青玉で出来てゐて、千年前に印度から持つて來られたものなんだが。これの一つだけ引つこ抜いてあの青年に持つていつておくれ。そしたらあの青

年はこれを寶石屋にでも賣つて、食べ物や薪を買つて劇を書き上げてくれるだらう」王子様が仰有いました。

燕は「ねえ、王子様、それは出来ません」云つて、しくしく泣き出しました。

王子様は「燕や、燕、小さい燕、僕の云ふ通りにしておくれ」云仰有いました。

それで燕は仕方なく王子様の眼を一つ引つこ抜いて、青年の屋根裏部屋へ飛んで行きました。するに屋根に一つ穴がありまして、這入るのはわけありませんでした。燕はその穴から部屋へ這入りますと、青年は両手に頭を埋めてゐるのでした。そして燕の羽ばたきも青年には聞えないのでした。そして顔を上げた時に漸く、凋びた葦の上に置かれた美しい青玉を見つけたのでした。

青年は吃驚して叫びました「僕はだん／＼認められて來たのだ。これは誰か偉い、僕の崇拜家が呉れたんだ。これで僕も劇が書き上げられる」そして彼は如何にも嬉しきうな顔をしました。

翌日燕は港へ飛んで降りました。そして大きい船の帆柱

にしまつて、水夫達が綱でもつて船艙から大きい函を曳上げるのを眺めました。水夫達は函が一つ宛上つて來る度に「よいせーら」云掛聲してゐました。燕は水夫達に「僕はこれからエヂプトへ行くんだよ」云申しましたが誰も注意して呉れませんでした。そして月が上つた時王子様の所へ飛んで歸りました。

「お暇乞ひに參りました」

燕が申しますと、王子様はまた「燕や燕、小さい燕、もう一晚僕の所に泊つて呉れないか」云仰有いました。

燕は「もう冬なんです。やがて冷たい雪が降つて參りませう。エヂプトでは暖い日が緑の棕櫚にさしてゐます。

鰐魚ワニは泥の中に臥て不精げにあたりを見廻してゐます。私の友達はパールベックのお寺に巢を作つてゐて、白地に桃色の斑のついた鳩がそれを眺めて、クウ／＼鳴き合つてゐませう。ねえ、王子様、私はもうお暇致します。だけれど私は王子様のことは決して忘れません。來年の春になりましたら、王子様がお與マりになつたのに代る二つの美しい寶石を持つて來て差し上げます。その紅玉の方は赤い

ばらよりも赤うございませう。そして青玉は大海のやうに碧うございませう」

するこ王子様は「この下の廣場に小さいマツチ賣娘があるんだよ。あの子はマツチを溝の中におつこして、全部駄目にしてしまつてゐる。あの子のお父さんは幾らかお金を持つて歸らないよあの子をぶつものだから、あの子は泣いてゐる。靴もはかず、靴下もはかず、帽子もかぶつてゐないんだよ。お前、僕の今一つの眼を引つこ抜いてあの子にやつてお呉れ。そしたらお父さんもあの子をぶつまいから」こ仰有いました。

するこ燕もお暇出来なくなつて「では、もう一晩泊めて戴きます。ですが王子様のたつた一つのお眼を引抜くわけに參りません。王子様がすつかり盲目メクラになつておしまひになりますから」こ申しました。

けれども王子様は「燕や燕、小さい燕、僕の云ふ通りにしてお呉れ」こ仰有るのでした。

燕は仕方なく王子様のたつた一つのお眼を引つこ抜いて、それを持つて矢のやうに飛び下りました。そしてスウツミ

マツチ賣娘の側を飛び過ぎざまに、その寶石を娘の手のひらに入れてやりました。娘は「なんて綺麗な硝子玉だらう」こ云つて、笑ひ聲を立て、家へ駆けつて歸りました。

それから燕は王子様の所へ歸つて来て、「王子様はもう盲目におなりになつたから、私はいつまでも王子様の所に居ります」こ申しました。

王子様は「いや、小さい燕や、お前はエヂプトへお歸り」こ仰有いました。

けれども燕は「私はいつまでも王子様の所に居ります」こ云つて王子様の足下に眠りました。

翌日は燕は一日中王子様の肩にこまつて、色々異國で見たこを話しました。ナイル河の岸に長い列を作つて、嘴で金魚を捕へる紅鎌鷺ベニカマサギの話や、この世界の出来た太初ハジメから生きてゐて、今も沙漠に住んで居り、何でも知らないここの無いこいふスフィンクスの話や、駱駝の側をのろりのろり歩いて、手に琥珀の珠數玉を持つて居る商人達の話、それから黒檀のやうに黒くて、大きな水晶を拜む月の山の王様の話、棕櫚の木に眠つて、蜂蜜のお菓子を食べるのに

二十人のお坊さんをかしづかせて居る緑色をした大蛇の話、大きな湖を渡るのに平い大きな葉に乗つて行き、始終蝶々達と戦争をして居るこいふ一寸法師達の話など、色々珍しい話を王子様にお聞かせしました。

王子様はそれをお聴きになつてから申されるには「ねえ、燕や、お前は随分珍しいこみを聞かして呉れたが、何より珍しいこみは人間の苦しみのこみだよ。不幸程不思議なものはない。ねえ燕や、この市街の上を飛んで、お前の目のついたこみを僕に知らしてお呉れ」

そこで燕が市街の上を飛んで廻ります。あちこちで、お金持の人達は立派な家の中で大騒ぎして宴會をしてゐました。一方では乞食達がその門の所に坐つてゐました。暗い路地に入つてみるに、飢えた子供達の青白い顔が外の暗い通りをぼんやり眺めてゐました。橋の下のアーチの下には二人の男の子が抱きあつて臥て、體を温めようとしてゐました。「お中が空いたなあ」二人は申すのでした。するに夜廻りのおぢさんが其處へ来て、「こら、此處に臥ちやいかんぞ」を申しましたので、二人は雨の降る中へあても

なく出て行きました。

それから燕は王子様の所へ歸つて来て、さういふ目にしたこみをお話しました。

するに王子様は「僕の體には一杯金が被せてあるからね、お前はこの金を一枚一枚剥ぎ取つてその貧しい人達にやつてお呉れ。生きた人達はいつもお金さへあれば幸福になれると思つてゐるから」を仰りました。

そこで燕はその金を一枚一枚剥ぎ取つて、王子様をすつかり、くすんだ灰色にしてしまひました。そしてそれをまた一枚一枚貧乏な人達に持つていつてやりました。するに子供達の顔は段々色になつて、通りで笑ひさんざめきながら遊ぶやうになりました。子供達は「もうパンが戴けるやうになつたんだ」を云つて喜ぶのでした。

それから雪が参りました。そしてその後からまた霜が参りました。街々は銀で出来たやうにピカ／＼ピカ／＼光りました。家々の軒からは水晶の劍のやうな長い氷柱が垂れました。人は皆毛皮にくるまつて歩くやうになり、小さい男の子達は紅い帽子を被つて氷の上でスケートをするやう

になりました。

燕は可哀相に段々寒くなつて來たのです。けれども王子様から離れようとは致しませんでした。燕は王子様が好きで、そんなことはとても出來ないのでした。彼はバン屋が見てゐない時にその店の外に落ちてゐるバン屑を拾つたり、羽ばたきをして體を温めようこしたり散々苦勞致しました。

けれども、たうとう燕も自分の死ぬ時が來たことを知りました。その時はもうやつと王子様の肩へ今一度飛び上るだけの力しかありませんでした。燕は力の無い聲で申しました「さようなら、王子様。お手にキッスをさして下さいませんか」

王子様は「燕や、漸くお前がエヂプトへ行く氣になつたのは嬉しい。お前は此處に居るのが長過ぎたよ。だけれどキッスは僕の唇にしておくれ。僕はお前が好きなんだから」を申されました。

「私が参りますのはエヂプトではないのです。私は『死の家』へ参るのです。『死』は『眠』の兄さんでございませう」

燕が申しました。

そして燕は幸福の王子様の唇にキッスをして、王子様の足下に倒れて死にました。

その時何か割れるやうなバチンといふ妙な音が王子様の像の内側から聞えました。それは王子様の鉛の心臓が眞二つに割れたのでした。確かにひびき霜だつたのです。

翌朝早く市長さんが市會議員達と一緒に下の廣場を歩いてゐました。そしてこの圓柱の臺の下を通る時に市長さんは「おや、幸福の王子様は何てみすばらしい様子をしていらつしやるだらう」を申しました。

「本當に何てみすばらしいことだせう」を市會議員達も申しました。この人達は何時も市長さんの説に賛成するのでした。それから皆で上へ登つて王子様の像を見ました。

「おや、紅玉が剣から落つてゐる。眼も無い。そして體ももう金色でなくなつてゐる。はあ、これぢや乞食みただ」を市長さんは申しました。

「本當に乞食みたいですね」市會議員達は相槌を打ちました。



「そして此處には王子様の足下の所に鳥が死んでゐる。鳥はこんな所で死んではいけないといふお布令フレを出さなくちやならぬ一市長さんはまた申しました。するに市の書記が、早速にその意見を書きさめました。

それから幸福の王子様の像が引下されることになりました。大學の美術の先生が幸福の王子様の像は美しくなくなつたから、もう役に立たないを申すのでした。

そして王子様の像が爐に入れられて溶かされることになりました。また市長さんはその地金の始末を決めるために市會を召集致しました。そして「我々は勿論また新しく像を造らなければならぬのであるが、今度の像はこの我輩の像を造ることに致さう」と提議しました。

するに今まで市長さんの云ふことには何でも賛成してゐた市會議員達が、皆それぐ「いや拙者の像を造ることに致さう」と云ひ出して争ひました、私が最後にその人達の議論を聞いてゐた時まで、まだその人達は言ひ争つて居りました。

一方鑄造場では職工監督が「何て不思議なことがあるも

のだ、この割れた鉛の心臓はさうしても爐の中で溶けないぞ。捨てるよりほかに仕様がなね」と申しました。そして職工達にこの鉛の心臓を塵棄場に投げ棄てさせてしまひました。其處には死んだ燕も捨てゝあるのです。

やがて天の神様が一人の天使に仰せになりました「この市街マチで一番貴い物を二つだけ私の所へ持つて来ておくれ」するにその天使はこの鉛の心臓と死んだ鳥とを神様の所へ持つて参りました。

神様は大變お喜びになつて「お前は良い物を選んで来て呉れた。私の天國の庭へ來たらこの小鳥はいつまでも歌を歌つてくれるだらう。またこの幸福の王子は私の金の市に來たら、いつまでも私を讚美メカクへてくれるだらう」と仰せになりました。

をばり

# 雜 錄

## 恩賜財團愛育會の成立

さきに 皇太子殿下 御降誕の慶福を萬民に分たせ給ふ聖旨によつて、七十五萬圓の御内帑金を内閣總理大臣に對し下賜あらせられ、兒童及母性の教化竝に養護に關する施設を講ずべき旨仰せ出されたことは、國民一般の恐懼感激にたへなかつたところであるが、文部内務兩大臣は聖旨を奉體して、協議の上恩賜財團愛育會を組織し、恩賜金を以て基金とし、更に特志者の淨財を集めて、普く本邦母子の福祉の増進を圖ることとなり、左の事業を行ふことになつた。

- 一、乳幼児及兒童ノ保育養護竝ニ教化ニ關スル調査研究指導
  - 二、兒童ニ對スル社會教育的施設
  - 三、母性教育及家庭教育ニ關スル施設
  - 四、兒童ノ養護ニ關スル施設
  - 五、兒童愛護思想ノ普及
  - 六、其ノ他兒童及母性ノ福祉ヲ増進スベキ諸施設
- 尙ほ同會總裁として久瀨宮大妃殿下を奉戴することとなり、天皇の佳節を以てその奉戴式を擧げ、殿下より親しく令旨を賜ひ、内閣總理大臣兼文部大臣、内務大臣、拓務大臣、及び宮内大臣臨席して祝辭を朗讀し、愈々會の成立と共に著々事業の計畫を進め

ることとなつた。

同會の役員は左の通りである。

會長	子爵 清浦奎吾
理事長	關屋貞三郎
常務理事	齋藤守圀
理事	
內務省社會局長官	丹羽七郎
內務省社會局社會部長	富田愛次郎
文部省普通學務局長	武部欽一
文部省社會教育局長	關屋龍吉
拓務省管理局長	生駒高常
宮内省總務課長	鹿兒島虎雄
東京帝國大學教授	男爵 稻田龍吉
	穗積重遠
	森村市左衛門
東京女子高等師範學校教授	男爵 倉橋惣三
	三田啓
	原泰一
監事	
內務次官	潮 蕙之輔
文部次官	栗 屋 謙
拓務次官	河 田 烈
	木村久壽彌太
	有賀長文
	小倉正恒

# コドモノテンチ

新緑に恵まれた六月號

（定價十五錢・郵税一錢） 一九二八年六月五日

## 編輯顧問

東京女子高等師範幼稚園主任  
東京女子高等師範幼稚園主任

倉橋 惣賛 三治

「コドモノテンチ」は子供の爲に最もよき繪雑誌

### 幼稚園小學校の先生へ

◎子供が喜んで見、興味を持つて讀む雑誌として、お母様方、先生方に大好評のあつた「コドモノテンチ」は、新緑に恵まれて六月號が出ました。

◎子供達は眼をかがやかして、其の頁一頁を見るでせう。さうして明朗な氣持になつて伸びてゆくでせう。

◎それは周到なる用意の下に編輯されて、一枚の繪、一くだりの句に、苦心によつてあらはされた温情があるからです。

◎其處に本誌の眞價があり、幼稚園小學校の初年生に最も適當な模範雑誌たる所以もあるのです。

◎先生方に限りお申込みになれば見本を贈呈いたします。さうぞ御覽の上本誌の愛讀者なられんことをお願いいたします。

### 家庭のお母様方へ

「コドモノテンチ」は明朗快活なる子供繪雑誌

## 六月號の目次

- ◎表紙(熊のピエロ)……………清水良雄
- ◎マキバ(仔馬の遊び)……………耳野卯三郎
- ◎金魚……………清水良雄
- ◎田植……………川上四郎
- ◎フランス人形……………深澤省三
- ◎カイセン(野球試合)……………板倉贊治
- ◎かへるの選手(童話)……………奥田準一
- ◎ハビフへホ(假名の書方讀方)……………武井武雄
- ◎でんでん蟲(童話)……………武井武雄
- ◎雨(水車小舎の一日)……………森山ニキヲ
- ◎お神輿(おまつり)……………熊谷元一
- ◎アユツリ(六月の或日)……………神谷戸吉
- ◎イチゴ……………一本木
- ◎時の記念日(六月十日)……………佐藤今朝治
- ◎フミキリシメキリ(童話)……………葛原しげる
- ◎飛行馬のピンチャン(漫畫)……………福與英夫
- ◎一より九まで(數の觀念)……………前川千帆
- ◎手技と繪手本……………安藤信哉
- ◎文福茶釜(繪物語)……………板倉贊治
- ◎パンの出来るまで……………深澤省三
- ◎子供の工夫遊び……………吉澤廉三郎
- ◎バラの花(メンタルテスト)……………本田庄太郎
- ◎裏表紙(桃太郎さんのお面)……………吉澤廉三郎
- ◎附録(ムシノイエ)……………西川藤太郎
- ◎曲譜と振付……………中山晋平
- ◎お母様方へ……子供に話して聞かせる話……………島田豊

東京町本郷一子供の天地社 電話 大塚五三〇 四〇九五

# 日本幼稚園協會編輯 幼兒の教育

會長

東京女子高等師範學校校長

吉岡 郷甫

主幹

東京女子高等師範學校教授  
附屬幼稚園主事

倉橋 惣三

## 日本幼稚園協會規則

- 第一條 本會ハ幼兒教育ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- 第二條 本會ハ日本幼稚園協會ト稱ス
- 第三條 會員タラントスルモノハ幼稚園ニ關係アルモノ又ハ幼兒教育ニ篤志ナルモノトス
- 第四條 會員ハ會費トシテ一ヶ月金參拾五錢ヲ齎出スヘシ、會員ハ無料ニテ本會發行雜誌ノ配布ヲ受ケ又本會ノ事業ニ關シ諸種ノ便宜ヲ受ケ
- 第五條 令聞名望アル人ニシテ本會ノ事業ニ裨益アリト認ムルモノヘシ  
テ客員トナスコトアルヘシ
- 第六條 幼稚園ニ關係アルモノニシテ本會ノ事業ノ爲ニ特ニ盡力ヲ與ヘラル、モノニ請ヒテ地方委員トナスコトアルヘシ
- 第七條 本會ハ毎年一回總會ヲ開ク。  
但場合ニヨリ臨時休會スルコトヲ得
- 第八條 本會ハ左ノ事業ヲ行フ  
一、幼兒教育ニ關スル研究及ヒ調査  
一、幼兒教育ニ關スル講演會及ヒ講習

- 會ノ開催
  - 一、雜誌發行(毎月一回)
  - 一、幼兒教育ニ關スル圖書刊行
  - 一、保姆就職及招聘ニ關スル仲介
  - 一、其他本會ノ目的ニ裨益アリト認メタル事件
- 第九條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
  - 會長 一名 會務ヲ總理ス
  - 主幹 一名 會長ヲ補佐シテ會務ヲ掌理ス
  - 幹事 若干名 會長ノ指揮ヲ受ケ會務ヲ分掌ス
  - 評議員 若干名 重要ナル事件ニ關シ會長ノ諮詢ニ應ス
- 第十條 會長ハ客員中ヨリ推薦スルモノトス
- 第十一條 主幹 幹事 評議員ハ二ケ年ヲ期シテ會長ヨリ推舉スルモノトス
- 第十二條 本會ハ必要ニ應シテニ委員ヲ設ケ又ハ書記ヲ雇入ル、コトアルヘシ
- 第十三條 本規則ハ總會出席會員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニアラサレハ變更スルコトヲ得ス

### 價定

一ヶ月分	冊送金	參拾五錢
半年分	冊送金	貳圓拾錢
一年分	冊送金	貳圓拾錢
拾貳冊送	料共	拾錢
拾貳冊送	料共	拾錢

### 廣告

特等面一頁二等面一頁  
金參拾圓金貳拾圓  
一等面一頁一頁以下  
金貳拾五圓御斷  
廣告社に御申込下さい

(外國行郵税は一部金拾貳錢の割にて御拂込下さい)  
昭和九年五月十二日印刷納本  
昭和九年五月十五日發行  
幼兒の教育 第三十四卷 第五號

### 不許複製 禁止轉載

編輯者 倉橋 惣三  
發行所 東京市本郷區駒込林町百七十二番地  
印刷者 柴山 則常  
東京市本郷區駒込林町百七十二番地  
印刷所 會社 杏林 舍

### 發行所

日本幼稚園協會  
振替口座東京一七二六六番

### 注文規定

- 一、本誌御注文の方は凡て前金(郵稅共)で願ひます。(郵券代用の場合は一割増)
- 一、御送金の場合はなるべく振替貯金で振替口座東京一七二六六番日本幼稚園協會宛に願ひます。
- 一、送金の節には第何巻第何月號より第何月號迄と明記せられたし。
- 一、本誌の代金に對しては別に領收證を差出しません。特に御入用の方は往復はがきで御申越を願ひます。
- 一、會費切又は前金切の際にはその最終發送の雜誌の帶封に「前金切」の印章を押捺いたしますから其節は早速御送金を願ひます。
- 一、本誌の見本御入用の場合には前金參拾五錢發送を願ひます。

増訂

〔版六十〕

奈良女高師教授・附屬幼稚園主事 森川正雄 先生著

定價三  
十六  
錢圓

# 幼稚園の理論及實際

奈良女高師教授・附屬幼稚園主事 森川正雄 先生著

定價二圓八十  
錢

〔版八〕

奈良女高師教授・附屬幼稚園主事 森川正雄 先生著

定價十二  
十六  
錢圓

# 保母教育學

〔版五〕

奈良女高師教授・附屬幼稚園主事 森川正雄 先生著

定價二圓八十  
錢

# 幼稚園保育兒法

〔版六〕

奈良女高師教授・附屬幼稚園主事 森川正雄 先生著

定價二圓八十  
錢

# 幼稚園の經營

▲幼稚園の理論及び實際を詳説された邦文無二の良書  
▲内外の實際、古今の理論等悉く收められて遺憾なし  
▲幼稚園經營の諸問題解決  
▲保母檢定受験者の唯一の指定参考書  
▲幼縣の保母檢定の王

▲保母指定試驗規則による管理の児童心理教授法  
▲保母の必須の全部網羅せる保母の本書の最良書  
▲教育の本質を、保母は幼稚園の理論及實際に依れば合格線上に達すに依れば保母須要二大科目参考書

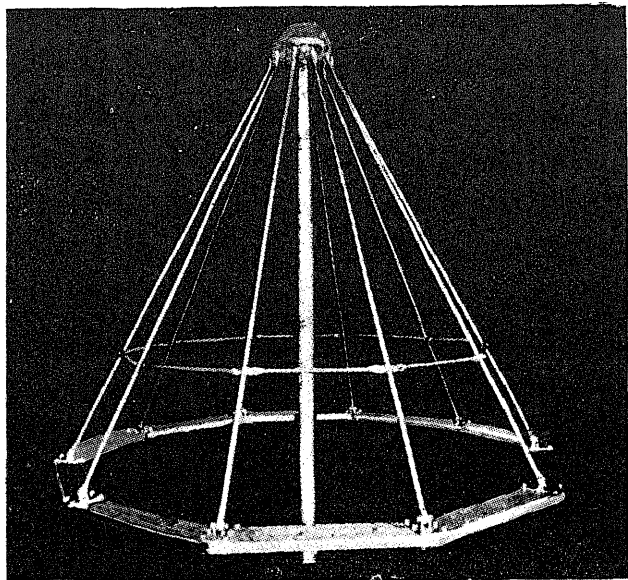
▲育兒法は保母資格試験の必須科目である。本書は其唯一の参考書にして又保母養成所の教科書として好適保母附録の二種法(一)健康保險法の訓令其他の諸規定を添へる切の限りを盡せる良書である。

▲標施行要目、保育要目、標準に於て經營時間配當該規定の經營の重要問題の總括を解する。良書の眞髓を把握せしめ、家庭の眞實の生活、經營の眞實の問題等を悉く盡さる。

東京 大阪 東洋圖書株式會社發行

東京市神田區神保町一丁目八番三〇番  
大阪東區大町三番九番

# 今！御園の御設備に絶好の時期！！



波動廻轉塔

新豫算のもに、「あれも一臺備へたい」この思召が御座いませば、兎も角も弊館へ御相談下さいませ。

工手間も設備費も、割安にして能率の從つて御施設は最も經濟的。幼兒の運動具・保育用品を研究し、製造し、販賣するに茲に二十有七年、堅牢にして行届いた工作は「フレイベル館の云々」、内外の幼稚園のゼネラル・オピニヤンとなつてゐます。

- ◇波動廻轉塔 Ocean Waves..... 八八〇圓
- ◇メリゴララウンド..... 七八〇圓
- ◇鐵製椅子ブランコ..... 四二〇圓
- ◇太鼓梯子..... 三〇〇圓
- ◇スモール・セット..... 七三〇圓
- ◇大型二十人乗シーソー..... 一三五〇圓
- ◇箱積木..... 一三五〇圓
- ◇セル氏積木..... 一三五〇圓
- ◇コンビネーション運動具..... 一三五〇圓
- ◇梓登り..... 一三五〇圓
- ◇鐵製二人乗ブランコ..... 一三五〇圓
- ◇大型鐵製滑り臺..... 一三五〇圓
- ◇樂隊遊び用樂器一揃..... 一三五〇圓
- ◇人形芝居用舞臺・人形一揃..... 一三五〇圓
- ◇子供の家(社會遊び)..... 一三五〇圓
- ◇その他新案各種運動具..... 一三五〇圓

昭和四年五月十五日第三種郵便物認可  
(毎月一回)十五日發行  
昭和九年五月十二日印刷納本  
昭和九年五月十五日發行

定價三十五錢

## 株式會社 フレイベル館

東京・神田・今川小路・電話九三二八番  
大阪・東區・後備町・電話一八九三番  
本店 所張出